

令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事

図面リスト


図面No	
A－0 1	特記仕様書（1）
A－0 2	特記仕様書（2）
A－0 3	特記仕様書（3）
A－0 4	特記仕様書（4）
A－0 5	特記仕様書（5）
A－0 6	付近見取図、配置図
A－0 7	【改修前】1階平面図
A－0 8	【改修後】1階平面図
A－0 9	【改修後】展開図
A－1 0	【改修前・後】建具リスト
A－1 1	【改修後】玄関差し掛け改修図
A－1 2	【参考図】既存 玄関差し掛け詳細図
E－0 1	電気設備工事 特記仕様書
E－0 2	電気設備工事 機材指定表
E－0 3	【改修後】照明器具姿図
E－0 4	【改修前】電灯コンセント・空調電源・自動火災報知設備図
E－0 5	【改修後】電灯コンセント・空調電源・自動火災報知設備図
M－0 1	機械設備工事 特記仕様書
M－0 2	【改修前】機械設備 1階平面図
M－0 3	【改修後】機械設備 1階平面図

い の 町

株 式 会 社 ラ イ ト 岡 田 設 計

特記仕様書			警備業者（以下「警備業者」という。）の作業員を配置させることとする。（交通誘導員として建設作業員等他職種の者を従事させないことを原則とする。）ただし、やむを得ず警備業者の作業員の確保が困難等の場合、現場の安全確保に対処できる者と主任監督員が認めたものについては、この限りではない。 交通頻繁な現道上の工事で交通切替又は交通規制が必要な工事、又は交通誘導警備検定合格者を配置することが適当と思われる工事については、交通誘導員は警備業者の作業員を配置することとし、原則として交通誘導警備検定合格者を１名以上／１班配置することとする。ただし、やむを得ず交通誘導警備検定合格者を配置できない場合、警備員名簿及び教育実施状況等に関する資料等により、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等と主任監督員が認めたものについてはこの限りではない。		※記載無き項は構造特記仕様参照	3 継手	施工箇所（ 柱・梁の主筋の継ぎ手 ※ ガス圧継手 重ね継手 (5.3.4)
I 工事概要 1. 工事場所 高知県香川郡いの町6032-3 (都市計画区域 (内)・外) 2. 敷地面積 - m ² 3. 構造規模 R C造 平屋 4. 建築面積 - m ² 5. 延床面積 301.61 m ² (改修対象面積) 6. 主要用途 各種学校 II 建築工事仕様 1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（令和7年度版）による。 2. 特記仕様 (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項は ・ 印のついたものを適用する。 ・ 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 ・ 印と ※ 印のついた場合は共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目 又は当該表を示す。			資格 1・2級交通誘導警備検定合格者 交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等 なお、事前に監督員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出するものとする。また、警備員に変更が生じた場合はすみやかに監督員に同様の資料を提出するものとする。		6 1	コンクリートの種類と強度	※ 普通コンクリート (6.1.3～4) 設計基準強度 F _c ※ 21N/mm ² 基礎 (SL18) ・ 18N/mm ² 捨て (SL15) (6.4.5)
章 項目			2 ① 監督員事務所 仮設 ② 工事用水 ③ 工事用電力		リ コ ン ク リ ト エ ン ジ ニ ン グ ※記載無き項は構造特記仕様参照	2 レディーミクストコンクリートの種類 3 セメントの種類 4 アルカリ総量 5 型枠のせき板 6 マスコンクリート 7 無筋コンクリート 8 高い強度のコンクリート 9 打放し仕上げの種類 10 施工計画	※ I 類 ・ II 類 (表6.1.1) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 (6.3.2) (6.16.2) 総量 3kg/㎡ ³ 以下 (6.5.4) ※ 合板 (厚さ12mm) ・ 合板 (厚さ15mm) ・ 床型枠用鋼製デッキプレート (建設技術評価品または評価名簿) ・ メッシュ型枠 (構造関係共通事項による) ・ 断熱材兼用型枠 25mm以下かつ熱抵抗値 1m ² h℃/kcal 以上 ・ MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート) (6.9.3) セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 スランプ ※ 15cm (6.13.3) (6.14.1～3) 種 類 所要スランプ 設計基準強度F _c (N/mm ²) 適用箇所 ・ 普通コンクリート ・ 15 ・ 18 ※ 18 均しコンクリート ・ 軽量コンクリート ・ 15 ・ 18 設計基準強度 (F _c) ・ 27 N/mm ² ・ 30 N/mm ² (6.15.1) ・ 33 N/mm ² ・ 36 N/mm ² スランプ ・ 18 cm ・ 15 cm ※ 合板せき板を使用する場合 (表6.2.3) 種 別 適用箇所 ・ A 種 ※ 図示による ・ ・ B 種 ※ 図示による ・ 化粧打放し及び塗装仕上面 ・ C 種 ※ 図示による ・ JASS5に準ずる
1 ① 適用基準等 ※ 建築工事監理指針 上下巻 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (令和4年版) ※ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (令和4年版) ・ 鉄骨設計標準図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (令和2年版) ・ 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱 (建築工事編) ※ 建設副産物適正処理推進要項 ※ 建築材料等評価名簿 建設大臣官庁官庁営繕部監修 ② 電気保安技術者 ○ 適用しない ・ 適用する (1.3.3) ③ 技能士 共通特記事項による。 (1.5.2) ④ 建築材料等 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。 (1.4.1) なお、「評価名簿による」と特記されたもの及び特記のないものについては、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿 (29年度版)」によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 5-1 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 木工用接着剤 接着剤に含まれている可塑剤は、難揮発性のもとする 木材保存剤 非有機リン系とする 塗料材料 ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする 内装工事用接着剤 はホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。 内装下地・仕上材・家具 建具等 F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする 5-2 室内空気中の化学物質の濃度測定 測定対象室 - 現場決定による 測定方法 - バッパン型採取器 (測定パッジF及びVの分析機関は、財団法人建築保全センターとする) 測定箇所数 - ⑥ 特別な材料の工法 ⑦ 発生材の処理 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 ・ 引き渡しを要するもの () (1.1.13) ○ 再生資源の利用を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 建設発生土 ○ 木材 ○ 廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする ⑧ 工事写真 下記のものを監督員に提出する。隠れる部分は 全て写すこと。 (1.2.4) 区分 分類規格 撮影枚数 部数 原板の大きさ (mm) 着工前 カラー ※ サービス版 工程毎 1部 24×36以上 工事中 ・ サービス版 完成時 カラー ※ キャビネ版 全室2面 2部 ※ 24×36以上 ・ 半紙パネル 1枚 1部 ・ 60×90以上 ・ 四切フォトパネル 1枚 1部 24×36以上 ⑨ 完成時の提出図書 注) この他に完成写真内外の面程度 (カラー＝サービス版) を1部 完成検査時に提出する。 ※ 原図一式を現場と相違なき様訂正してA2二つ折り製本 (発注者用2部+設計事務所用1部) 提出。 ○ 各施工図 (発注者用1部) 提出。 ○ 完成図は次の原図 (作成方法 ※ CAD (CD-R共提出) ・ A3版 マイラー) を提出する。 配置図 平面図 立面図 矩計図 仕上表 (メーカー、記号を記入) (1.7.1) (表1.7.1) ○ デジタルカメラで撮影された工事写真 (CD-R共提出) (1.7.3) ※ 安全に関する資料 (提出部数 ※ 1部) ・ 1部 ⑩ 設備工事との取合い 施工範囲 梁貫通部の補強 ※ 本工事 ・ 設備工事 梁貫通部のスリーブ ※ 設備工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み 補強及びドアーチェック、フロアヒンジ ※ 本工事 ・ 設備工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強 ※ 本工事 ・ 設備工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ※ 設備工事 ・ 本工事 埋込形分電盤 消火栓等の仮枠及び補強 仮枠 ※ 設備工事 ・ 本工事 補強 ※ 本工事 ・ 設備工事 照明器具 幹線等の吊ボルト用インサート ※ 設備工事 ・ 本工事 電気室 自家発電室などのビット (蓋含む) ※ 本工事 ・ 設備 ⑪ 総括安全衛生管理職務者の指名 労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。 ⑫ 交通誘導員 ○ 配置する (コンクリート打設、他交通整理員が必要な工事及び日時) ・ 配置しない ・ 交通誘導員を配置する場合は、原則として、警備業法 (昭和47年法律第117号) 第4条による認定を受けた			3 ① 埋め戻し及び盛土 種類 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (表3.2.1) 2 発生土の処理 ※ 構外搬出適正処理 ・ 構内指示の場所に敷きならし (3.2.5) 3 騒音振動の防止 ・ 構外指定場所に搬出 ・ 構内指示の場所に堆積 低騒音型 低振動型建設機械指定要項に基づき指定された建設 機械を使用する。 4 防蟻土壌処理 建物廻り1mまでの範囲 (表3.2.1) (3.2.5) 4 ① 試験杭 杭の本数 ※ 最初の一本 杭の寸法 ※ 本杭と同じ ・ 打込み工法の設計支持力 KN/本 (表3.2.1) (4.3.1～5) 2 既製コンクリート杭地業 工法 ※ 基準法に基づく埋込み杭工法 または、認定埋込み工法 ・ 杭の種類 種類の記号 ※ P H C 杭 品 質 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 寸法 (Dmm×Lmm) 継ぎ手の箇所数 箇所 先端部の形状 ※ 開放型 継手の工法 ※ アーク溶接 (半自動溶接) ・ 無溶接 継手 杭頭の処理 ※ 行わない ・ 行う (表4.5.1) (4.5.1～4) 3 場所打ちコンクリート杭地業 工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールシング工法 掘削深さ 8 m 断面寸法 1300 mm コンクリートの設計基準強度 ※ 21 N/mm ² ・ コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種 (表4.5.1) (4.6.5) 4 砂利地業 厚さ (mm) ※ 60 ・ 100 再生クラッシュラン ※ 使用する (適用箇所 ※ 直接基礎を除きすべて ・ 全て) 5 捨てコンクリート地業 厚さ (mm) ※ 60 ・ 50 ※ F _c 18N/mm ² (4.6.5) 6 土間防湿層 施工範囲 - 支援員室便所 新設土間コンクリート下 ポリエチレンフィルムなどで厚さ0.15mm以上 重ね幅縦横及び基礎梁際のみ込みは250mm以上 (4.6.6) 7 接合部分の断熱材 施工範囲 - 土間下 ポリスレンフォーム保温板 t=25 B種3種 (スキ層なし) (19.9.2) 8 直接基礎 基礎検査書による (4.2.1) (表5.2.1) 5 鉄筋 規格番号 種類の記号 ※ JIS ※ SD295A D10、D13、D16 G 3112 ※ SD345 D19以上 ・ 寸法 ・ 6φ×150×150 施工箇所 (1,2階便所 段差撤去跡 ｽﾗﾌﾞ 復旧範囲) (5.2.2) ・ 3.2φ×100×100 施工箇所 () 2 溶接金網		7 1 鉄骨製作工場 ※ 昭和56年建設省告示第1103号の規定に基づく認定工場 (7.1.3～4) (・ H ・ M ・ R ・ J) グレード以上 2 鋼材 施工管理技術者 ※ 適用する (鉄骨製作管理技術者) ・ 適用しない (7.2.1) (表7.2.1) 3 高力ボルト ※ トルシア形 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) 4 アンカーボルトの材質 材質 構造用アンカーボルト ※ SNR400 (7.2.4) 及び設置 建方用アンカーボルト ※ SS400 (7.10.3) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法 ※ 図示による (表7.10.1) 建方用アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ ベースバック 5 柱底均しモルタルの材料及び工法 材料 ・ モルタル ※ 無収縮モルタル 製造所 評価名簿による (7.2.9) (表7.2.6) 工法 ※ A種 ・ B種 (7.10.3) (表7.10.2)		
特記仕様書 (1)			特記仕様書 (1)		特記仕様書 (1)		
scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)			checked by		drawn by		
工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事			図面名 特記仕様書 (1)		No A-01 SCALE		
図面名 特記仕様書 (1)			株式会社 ライト岡田設計		一級建築士大臣登録第292355号 岡田良嗣		

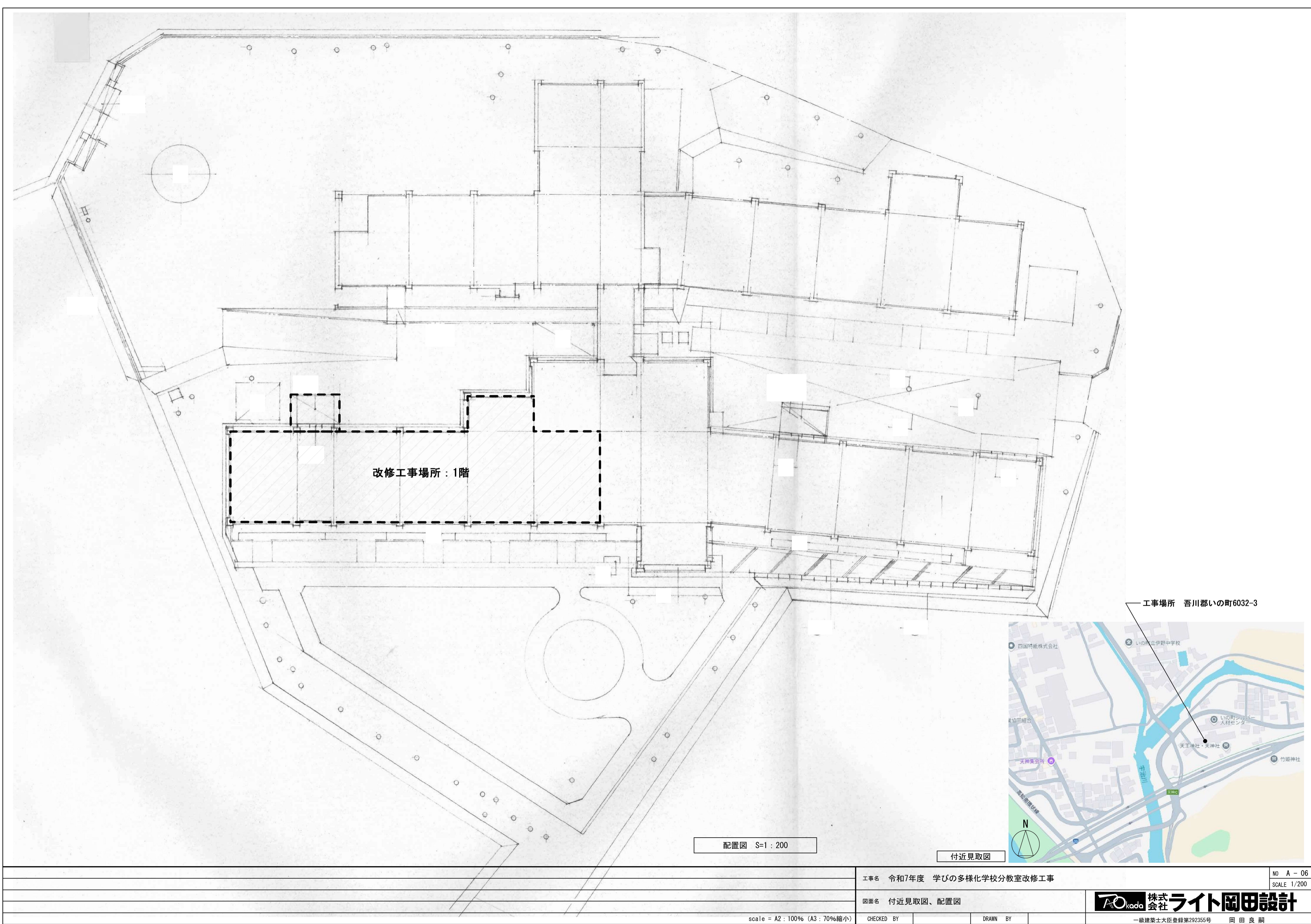
6	溶接部の試験	※超音波探傷試験（ （7.6.11）	4	塗 膜 防 水	(9.5.2～4) (表9.5.1)		1	木 材	原則として県内産(国産材で県内の製材所で製材された物)の木材を使用するものとし、代用樹種は認めない。 但し平角の松等これにより難しいものは監督員の承認を得て使用できる。 木材の含水率 ※ A種 ・ B種 (表12.2.1) 造作材の品質 ※ A種 ・ B種 (表12.2.2)
					種 別				
					施 工 箇 所				
					脱気装置（種別 X－1） ※ 設けない ・ 設ける 種類 主要材料製造所の仕様による 設置数量 種類及び施工箇所 (9.6.2)				
					種類及び施工箇所 特記無き限り MS-2（変成シリコーン系） サッシ廻り・打継ぎ目地：15×10 流し廻り他取合部：10×10 図示以外は（表9.6.1）による (9.6.5)				
					接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験				
					期間は 10年とし 請負業者 施工業者 製造業者の3社連名の保証とする。				
					7	錆止め塗料			
8	耐火被覆材の種類、性能	種別 ・ ラス張りモルタル塗り ・ 耐火材吹付 ・ 耐火材張り (7.9.1～8) 性能	⑤	シーリング用材料	種類及び施工箇所 種類・産地・名称 表面仕上の種類 (表10.2.1～2)		4	構 造 材、下 地 材	施工箇所 樹 種 備 考
					施工箇所 種類・産地・名称 表面仕上の種類 (表10.2.1～2)				
					玄関 上り框 御影石 W60×H120×L4600 ジェットナー仕上				
					玄関 スロープ側板 御影石 W60×H20～120×L1200 本磨き				
					玄関 巾木 御影石 W20×H110 本磨き				
9	溶融亜鉛めっき	※ 表14.2.2のA種（軽量形鋼は、板厚によりB種・C種とする） (14.2.3)	⑤	シーリングの試験	接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験		5	集 成 材 等	(12.2.2) 施工箇所 樹 種 備 考
					期間は 10年とし 請負業者 施工業者 製造業者の3社連名の保証とする。				
10	鉄骨の製作精度及び建方精度	※ (社)日本建築学会「鉄骨精度検査基準」による (7.3.2)	10	1 石 材	種 類 ※ 天然石 ・ 人工石 (10.2.1) 品 質 ※ 1等品 (床以外) ※ 2等品 形状及び寸法 ※ 図示 石材の種類及び表面仕上げ (表10.2.1～2)		5	集 成 材 等	(12.2.2) 施工箇所 樹 種 備 考
					施工箇所 種類・産地・名称 表面仕上の種類 (表10.2.1～2)				
					玄関 上り框 御影石 W60×H120×L4600 ジェットナー仕上				
					玄関 スロープ側板 御影石 W60×H20～120×L1200 本磨き				
					玄関 巾木 御影石 W20×H110 本磨き				
8	1 コンクリートブロック	(8.2.2) (8.3.2) (8.3.7) (表8.3.1)	2	取 付 け 金 物	乾式工法用金物式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 (10.2.2) (表10.2.4)		6	防 ぎ 処 理	(12.2.9) 適用箇所（木部：柱・土台・床組 GL+1.0mまで） 保存木材の性能区分 ※ K3 ・ 同等品以上
					乾式工法用金物式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 (10.2.2) (表10.2.4)				
					石表面処理材 () 裏打ち処理材 () ドレンパイプの材質 () 金物固定充填材料 ()				
2	A L C パ ネ ル	(8.4.2～5) (表8.4.2～3)	3	そ の 他 の 材 料	(10.2.3)		7	防 虫 処 理	(12.2.10) ラウン材（保存処理K1）
					(10.2.3)				
					石表面処理材 () 裏打ち処理材 () ドレンパイプの材質 () 金物固定充填材料 ()				
3	押出成形セメント板	(8.5.2～4) (表8.5.1～2)	11	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	(11.1.3) 外 壁 ※ 図示による ・ 表11.1.1による ・ 耐震スリット部		13	1 長 尺 金 属 板 葺	(13.2.2～3) (表13.2.1) 長尺金属板の種類 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ 高耐食フェライト系ステンレス鋼板 ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） (CZACCR-20) ・ 塗装溶融亜鉛5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） ・ GL塗装鋼板 長尺金属板の厚さ(mm) 一般部 ・ 0.3 ・ 0.35 ※ 0.4 谷部 ・ 0.3 ※ 0.4 屋根葺き形式 ・ 瓦葺葺 ・ 平葺（段つき） ・ 壁ハゼ葺 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 屋根葺工法を定める専門事業者 ※ 監督職員の承諾する業者 形式 ※重ね形又ははぜ縫形 山形 mm 山ピッチ 88 mm (13.3.2) 耐力 ※ 厚さ ※ 0.8 mm ・ 0.5 mm 材料 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(A種、SG) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） (CZACCR-20) ・ 塗装溶融亜鉛5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） ・ GL鋼板（屋根用） 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による 軒先面戸板 ・ 適用する
					(11.1.3) 外 壁 ※ 図示による ・ 表11.1.1による ・ 耐震スリット部				
					(11.2.1) (11.2.3) タイルの種類 ※ 標準色 ・ 特注色 施 工 箇 所 形 状 (mm) 備 考				
9	1 アスファルト防水	(9.2.2～5) (表9.2.1～8)	3	陶器質タイル張り	(11.3.2～3) (表11.3.2) 種 別 区 体 表 面 下地モルタル塗り 工 法 適用タイル ・ M C R 工 法 ※ ポリマーセメント 密着工法 ・ 小口タイル ・ 目 荒 し 工 法 ※ ポリマーセメント 改良圧着張り ・ ニ丁掛タイル		2	折 板 葺	(13.3.2) 形式 ※重ね形又ははぜ縫形 山形 mm 山ピッチ 88 mm (13.3.2) 耐力 ※ 厚さ ※ 0.8 mm ・ 0.5 mm 材料 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(A種、SG) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） (CZACCR-20) ・ 塗装溶融亜鉛5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） ・ GL鋼板（屋根用） 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による 軒先面戸板 ・ 適用する
					(11.3.2～3) (表11.3.2) 種 別 区 体 表 面 下地モルタル塗り 工 法 適用タイル ・ M C R 工 法 ※ ポリマーセメント 密着工法 ・ 小口タイル ・ 目 荒 し 工 法 ※ ポリマーセメント 改良圧着張り ・ ニ丁掛タイル				
					M C R 工 法 M C R 工 法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による 目 荒 し 工 法 高圧水洗しによる目荒しは、50N / mm ² の水圧で 2.5分 / m ² 程度とし、仕上がり面の程度は監督員の承諾を受ける。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの調合は、1.5.2.3(b)による。				
2	改質アスファルトシート防水	(9.3.1～3)	3	陶器質タイル張り	(11.3.2～3) (表11.3.2) 種 別 区 体 表 面 下地モルタル塗り 工 法 適用タイル ・ M C R 工 法 ※ ポリマーセメント 密着工法 ・ 小口タイル ・ 目 荒 し 工 法 ※ ポリマーセメント 改良圧着張り ・ ニ丁掛タイル		2	折 板 葺	(13.3.2) 形式 ※重ね形又ははぜ縫形 山形 mm 山ピッチ 88 mm (13.3.2) 耐力 ※ 厚さ ※ 0.8 mm ・ 0.5 mm 材料 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(A種、SG) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） (CZACCR-20) ・ 塗装溶融亜鉛5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） ・ GL鋼板（屋根用） 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による 軒先面戸板 ・ 適用する
					(11.3.2～3) (表11.3.2) 種 別 区 体 表 面 下地モルタル塗り 工 法 適用タイル ・ M C R 工 法 ※ ポリマーセメント 密着工法 ・ 小口タイル ・ 目 荒 し 工 法 ※ ポリマーセメント 改良圧着張り ・ ニ丁掛タイル				
					M C R 工 法 M C R 工 法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による 目 荒 し 工 法 高圧水洗しによる目荒しは、50N / mm ² の水圧で 2.5分 / m ² 程度とし、仕上がり面の程度は監督員の承諾を受ける。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの調合は、1.5.2.3(b)による。				
3	合成高分子系膜フタシート防水	(9.4.2～4) (表9.4.1)	3	陶器質タイル張り	(11.3.2～3) (表11.3.2) 種 別 区 体 表 面 下地モルタル塗り 工 法 適用タイル ・ M C R 工 法 ※ ポリマーセメント 密着工法 ・ 小口タイル ・ 目 荒 し 工 法 ※ ポリマーセメント 改良圧着張り ・ ニ丁掛タイル		2	折 板 葺	(13.3.2) 形式 ※重ね形又ははぜ縫形 山形 mm 山ピッチ 88 mm (13.3.2) 耐力 ※ 厚さ ※ 0.8 mm ・ 0.5 mm 材料 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(A種、SG) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） (CZACCR-20) ・ 塗装溶融亜鉛5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用） ・ GL鋼板（屋根用） 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による 軒先面戸板 ・ 適用する
					(11.3.2～3) (表11.3.2) 種 別 区 体 表 面 下地モルタル塗り 工 法 適用タイル ・ M C R 工 法 ※ ポリマーセメント 密着工法 ・ 小口タイル ・ 目 荒 し 工 法 ※ ポリマーセメント 改良圧着張り ・ ニ丁掛タイル				
					M C R 工 法 M C R 工 法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による 目 荒 し 工 法 高圧水洗しによる目荒しは、50N / mm ² の水圧で 2.5分 / m ² 程度とし、仕上がり面の程度は監督員の承諾を受ける。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの調合は、1.5.2.3(b)による。				

				工事名 令和7年度 学びの多様な学校分教室改修工事		NO A-02	
						SCALE	
				図面名 特記仕様書（2）		 株式会社 ライト岡田設計	
scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)				CHECKED BY		DRAWN BY	一級建築士大臣登録第292355号 岡田良嗣

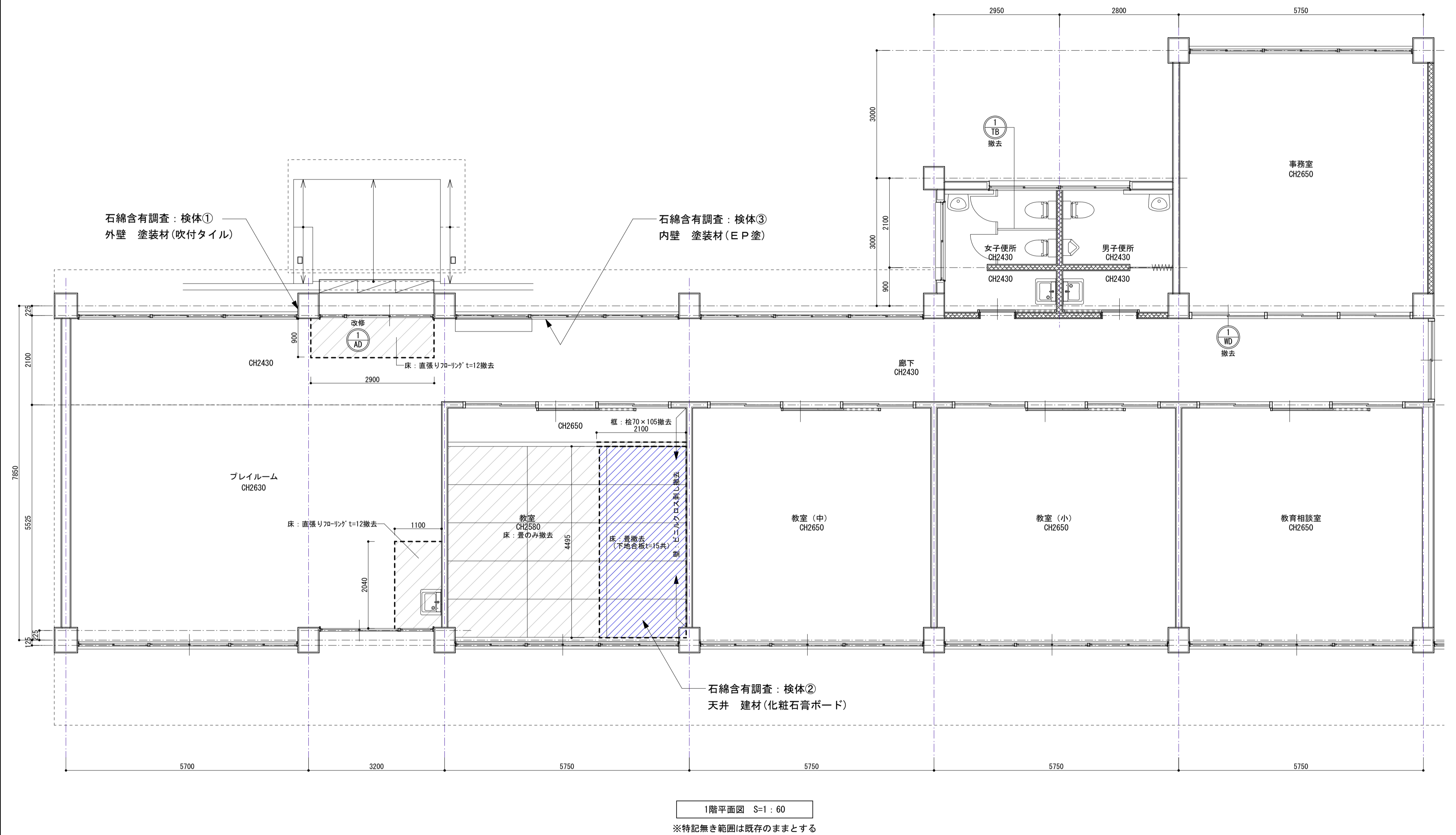
金 属 工 事	3	と い ※ 図示による	材種 ・ 配管用鋼管 ※ 硬質塩化ビニル管 ・ アルミ管（既製品 バンドル） ・ ガルバリウム製交換性樋の防露 ※ 行う（表13. 6. 5） ・ 行わない とい受金物 ※ 市販品 ・ 表13. 6. 2 飾り樹 ルーフドレイン 製造所 評価名簿による	4	隠蔽部といの防露巻工法部等の処理	グラスウールt=20+アルミガラスクロス仕上保温材巻き	(表13. 6. 5)
	14	1	あと施工アンカー	引抜き耐力の確認試験 ※ 機械的簡易引抜き試験機 ・ 設計用引張強度	(14. 1. 3)		
	2	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	※ 図示による	(14. 2. 2) (表14. 2. 1)			
	3	鉄鋼の亜鉛めっき	※ 屋外使用部すべて（但し屋外階段 柱面及びササ桁外側のみフッ素樹脂塗装とする） 種 別 施 行 箇 所 種 別 施 行 箇 所 B - 1種 B - 2種 A 種 C 種	(14. 2. 3) (表14. 2. 2)			
	4	金属成型板張り	※ 標準品 シルバー 部材の種類 ・ 225形 ・ 200形+水切材（ABC商会DK-302標準シルバー） ・ 300形 ・ 400形 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 ・ フッ樹脂焼付塗装 隅角部及び突当り部等の役物 笠木製造所の仕様による。 ・ 曲げ材 材 質 JIS H 4 0 0 0 による 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 厚さ（mm） ・ 2. 0 形状は図示による 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による ・ 適用しない	(14. 6. 2～3)			
	5	アルミニウム製笠木	※ 標準品 シルバー 部材の種類 ・ 225形 ・ 200形+水切材（ABC商会DK-302標準シルバー） ・ 300形 ・ 400形 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 ・ フッ樹脂焼付塗装 隅角部及び突当り部等の役物 笠木製造所の仕様による。 ・ 曲げ材 材 質 JIS H 4 0 0 0 による 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 厚さ（mm） ・ 2. 0 形状は図示による 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による	(14. 7. 2～3) (表14. 8. 1)			
	6	手 す り	材料の種類 ※ 配管用鋼管 ・ 図示による 亜鉛めっき ・ 行う（※ C種 ・ ） ・ 行わない	(14. 8. 2)			
	7	タ ラ ッ プ	ビット内点検用アングル昇降タラップ スチール製亜鉛メッキ処理品 W700・H2200(8段) - 13箇所 ※床下点検口開口位置に取付	(14. 8. 3)			
	8	サッシ取合い間仕切り板	※ アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具に含む） ・ 木製 ・ 鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 亜鉛の付着量Z12又ははF12）				
	左 官 工 事	15	1	材 料	既製目地材 製造所 吸水調整材 製造所 評価名簿による	(15. 2. 2)	
2		セルフレベリング材塗り	種 類 厚さ（mm） 施 行 箇 所 ※ セメント系 ※ 10 ・ せっこう系 ・ 10	(15. 4. 2 ～3) (表15. 4. 1)			
3		仕上塗材仕上げ	種 類 仕上りの形状 工 法 ・ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ 着色骨材砂壁状 ・ 厚付け仕上塗材 種 類 仕上りの形状 工 法 上 塗 材 ・ 外装厚塗材E スタック状 ・ 吹放し ・ 吹付け ・ 行う ・ 凸部処理 ・ 行わない	(15. 5. 2) (表15. 5. 1～2)			
16		1	アルミニウム製建具	※ 建具リスト参照	(16. 1. 3) (16. 2. 2～4)		
2		鋼 製 建 具	※ 建具リスト参照	(16. 1. 3) (16. 3. 2～4)			
3		標 準 型 鋼 製 建 具		(16. 3. 6)			
4		鋼 製 軽 量 建 具	※ 建具リスト参照	(16. 4. 2～5) (表16. 4. 1)			
5		標 準 型 鋼 製 軽 量 建 具		(16. 4. 6)			
6		ステンレス 製 建 具		(16. 5. 4～5)			
7		建 具 用 金 物	※ 建具リスト参照	(16. 7. 1～4)			
8	自動ドア開閉装置	センサーの種類 ※ 光線（近赤外線反射） ・ マット ・ 電子（電磁） ・ 音波 ・ 熱線 ・ 光電 ・ タッチ ・ ベダル ・ 押しボタン 取付位置 ※ 天井面 ・ 床面 ・ 壁面 ・ 無目 開閉機構の製造所 評価名簿による	(16. 8. 3) (表16. 8. 3)				
	9	自閉式上吊り引戸装置	※ 建具リスト参照	(16. 9. 2～4) (表16. 9. 1)			
	10	重 量 シャッター	種 類 ・ 一般 ・ 外壁用防火 ・ 屋内用防火 ・ 屋内用防煙 防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする。 危害防止装置 ・ 障害物感知装置（自動閉鎖型） ・ 二段降下方式 開閉機能による種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 シャッターケース（防火 防煙以外） ※ 設ける ・ 設けない 製作所 評価名簿による	(16. 10. 2～5)			
	11	軽 量 シャッター	※ 建具リスト参照	(16. 11. 2～5) (表16. 11. 1)			
	12	オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能 ・ 開閉形式による区分 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイルフト形 ・ パーチカル形 危害防止装置 ・ 障害物感知装置（自動閉鎖型） ・ 二段降下方式 ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス製（SUS304）厚さ2.0mm 製作所 評価名簿による	(16. 12. 2～5)			
	13	ガ ラ ス 材 料	共通仕様書の規定による材料又は評価名簿による材料 建築基準法に基づき定められた風速（V ₀ ）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による	(16. 13. 2)			
	14	ガ ラ ス の 留 め 材	建 具 の 種 類 材 種 鋼 製 ※ シーリング材 アルミニウム 製 ※ シーリング材（ビル用サッシ） ・ ガスケット（住宅用サッシ） ステンレス 製 ※ シーリング材 木 製 ※ シーリング材 防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による。	(16. 13. 2) (表9. 6. 1)			
	15	ガラス溝の寸法、形状等		(16. 13. 3) (表16. 13. 1)			
	16	ガラスブロック積み	製造所 J I S A 5 2 1 2 によるもの又は評価名簿によるもの。	(16. 13. 5)			
	17	付 属 電 気 設 備	自動扉の施工範囲は下記による。 自動扉の電源スイッチ以降の配線工事（配管及び位置キツスは別途工事とする）。 三相電動機0.4kW以上の場合は 機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサを設置。 ○ 図示				
18	飛散防止フィルム貼						
特 記 仕 様 書（3）							

カーテンウォール工事	17	1	カーテンウォール	(17.1.3) (17.2.2～6) (17.3.2～6)					⑥	畳敷き	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 D種の場合の畳床記号 ・ K TーⅠ ・ K TーⅡ ・ K TーⅢ 畳表は高知県土佐畳表検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。	(19.6.2)			
				※ 耐風圧性		・ Sー4	・ Sー5	・ Sー6					・ 気密性	・ Aー3	・ Aー4
				耐震性		・ 1 / 2 0 0		・ 耐火性					時間		
				・ 層間変異追従性能		※ 1 . 0		・ 耐温度差性					°C		
				・ 設計用水平震度		※ 0 . 5		・ 遮音性					・ Tー1	・ Tー2	
				・ 設計用鉛直震度		※ 0 . 5		・ 遮音性					・ Tー3	・ Tー4	
				・ 水密性		・ Wー4	・ Wー5	・ 断熱性					(m ² h ² ℃ / kcal)		
				その他の性能		図示による									
				種類		・ メタルカーテンウォール 金属材料の種類 ・ アルミニウム製 (・ Bー1種) ・ 鋼 製 () ・ ステンレス製 () ・ P Cカーテンウォール									
				製造所											
塗装工事	18	①	材料	防火材料	屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき指定又は認定を受けたもの (18.1.3)										
				2-ASE	- アクリルシリコン樹脂塗料										
				VP	- 塩化ビニル樹脂エナメル										
				NAD	- アクリル樹脂系非水分散形塗料										
				2-UE	- 2液形ポリウレタンエナメル塗料										
				DP	- 耐候性塗料：屋外鉄鋼亜鉛メッキ面は1級・珪素樹脂塗料、屋内鉄鋼面は3級・シリコン樹脂塗料										
				EP	- 合成樹脂エマルジョンペイント（つや有り）										
				CL	- クリヤーラッカー										
				OC	- オスモノマーalkリヤー ※外部木面は、ウッdstインプロテクター										
				UC	- ウレタン樹										
※ 室内に使用する塗料は全て、ホルムアルデヒド等級区分 F☆☆☆☆とし クロルビリホス・トルエン・キシレンを配合無きものとする。															
フジワラ科学樹 キャップス ローラー仕上															
内装工事	19	①	ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル	○ ビニル床シートt=2.0貼は、東リ フォアグラウンド 同等品以上											
				(19.2.2～3)											
				種類	記号	色柄	厚さ (mm)	工法							
				※ 発泡層のないもの	※ NC	※ 無地	・ 2.0 ※ 2.5	・ 突付け ※ 熱溶接							
				・ 特殊機能床材（帯電防止）											
				種類	記号	厚さ (mm)	性能 J I S K 6911 (準拠) 20℃ 40%RH								
				・ 帯電防止床シート	NC	※ 2.0	8								
				・ 帯電防止床タイル	CTS		※ 体積抵抗値 (Ω) ・ 1.4X10 ⁸ 以上								
				・ 特殊機能床材（帯電防止以外）											
				種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)									
・ 視覚障害者用床材（塩ビ製）	※ 2.0	※ 300 x 300													
・ "（合成ゴム製）	※ 2.0	※ 400 x 400													
・ ゴム床タイル															
種類		厚さ (mm)	寸法 (mm)												
		10	1000×1000												
		9													
ビニル幅木 高さ(mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 共通仕様書の規定による材料又は評価名簿による材料															
・ タイルカーベツト (t=6.5) Aは、東リ GA-100同等品以上 ・ タイルカーベツト (t=6.8) Bは、東リ GA-100W同等品以上															
(19.3.3～4) (表19.3.2)															
種別	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ	電気抵抗 (Ω)	工法										
※ A種	※ループバイル	500角	※ 8.0mm	※ 適用しない 9	※全面接着										
・ B種	・ カットバイル			・ 10以下 (J I S L 1904 23℃25%RH)	・ のり付加工品数										
製造所															
・ t=4.0 ラバー付 一般品															
(19.4.3)															
(表19.4.3)															
(表19.4.4～7)															
・ 弾性ウレタン塗り床材															
仕上りの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ															
(表19.4.4～7)															
・ エポキシ樹脂塗り床材 (住友ケリツコト G-10同等品以上)															
仕上りの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ															
・ 無機質系コンクリート表面強化材 (住友ゴム ケリツコト A同等品以上)															
仕上りの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ															
・ 床排水部耐熱塗料：厨房回転裏下 水性硬質ウレタン系t=6 ABC商会タフクリートMH工法同等品以上															
仕上りの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ															
・ 杉 t=12 塗装品 WOODONE 高知県産材使用品同等品 (19.5.2～7)															
内装工事	20	①	ユニツト及びその他の工事	1 フリーアクセスフロア (OAフロア)											
				三洋工業 マツタマ 3000N同等品以上 ※既存床面にクッション材敷のうえ、設置のこと。											
				(20.2.2)											
				施行箇所		1階事務室									
				構法		・ パネル構法 ・ 清構法	・ パネル構法 ・ 清構法								
				耐震性能		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G								
				耐荷重性能		※ 3000N ・ 5000N	・ 3000N ・ 5000N								
				高さ (mm)		仕上りH=50									
				構成材		樹脂製									
				床表面仕上げ材の材質		※ タイルカーベツト (※ A種 ・ B種) ・ 帯電防止ビニル床タイル	※ タイルカーベツト (※ A種 ・ B種) ・ 帯電防止ビニル床タイル								
ボーダー部及びスロープ		※ メーカー仕様	図示												
製造所 評価名簿による															
J I S A 6512によるほか、下記による。															
(20.2.3)															
構造形式による種類 ※スタツド式 (・ スタツド露出 ・ スタツド内蔵) ・ スタツドパネル式															
表面材質及び厚さ ※亜鉛メツ鋼板t=0.5 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付け塗装 (※ 常備色 ・ 指定色)															
パネル厚さ (mm) 程度															
遮音性															
製造所 J I S A 6 5 1 2によるもの又は評価名簿による															
3 移動間仕切り ※ 建具リスト参照															
パネルの操作方法による種類 ・ 製造所の仕様による ・ 図示による (20.2.4)															
表面材質及び厚さ 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付け塗装 (※ 常備色 ・ 指定色)															
パネル厚さ (mm) 50 程度															
パネル圧接装置の操作方法 ・ 製造所の仕様による ・ 図示による															
遮音性															
製造所 評価名簿による															
④-1 トイレブース															
4-2 パーテーション															
5 階段滑り止め															
材種 ステンレス製 (・ 埋込み工法 ※ 接着工法) (20.2.6)															
フラツトエンド ・ 有 (※ タ付同材 ・ ステンズ鋼) ・ 無															
形式 ※ ビニル材又は合成ゴム材入り ・ ステンレス製 幅 (mm) ※ 約35															
・ 加工業 ハスツツア UDP-50S同等品 (スツツア) 付用 7mm金台表面ゴム製															
・ 黒板 ※ 焼付け 色彩 ※ 緑 (20.2.8)															
・ ホワイトボード トレイ付 1800×1100 行事予定 () 900×1100 行事予定 () (20.2.9)															
7 鏡 (クリアミラー)															
・ 家具リスト参照															
8 表示															
・ 案内板 ・ 庁舎案内板 (※ 標準詳細図による ・ 図示による) (20.2.10)															
・ 視覚障害者用案内板 (※ 共通詳細図による ・ 図示による)															
・ 室名札 ※ 図示による															
・ ピクトグラフ ※ 標準案内用図記号ガイドライン (交通エコロジー・モビリティ財団) による ※ 図示による															
・ 庁舎文字 ※ 共通詳細図による															
・ 施設銘板 ※ 図示による															
内装工事	9	10	煙突ライニング ブラインド	最高使用温度 ※ 400℃ ・ 600℃ (20.2.11) 製造所 評価名簿による											
				※ 施工場所及び仕様は、リスト参照 (20.2.12)											
				形式	・ 横形ブラインド		・ 縦形ブラインド (防炎性能を有するもの)								
				スラツトの材種	アルミニウム合金		・ アルミスラツト ・ クロススラツト								
				ブラインドの種類	※ ギヤー式 ・ コード式 (ボール式)		※ コド方式								
				スラツトの幅 (mm)	※ 25 ・ 35		・ 80 ・ 100								
				※ 施工場所及び仕様は、リスト参照 (20.2.13)											
				※ 施工場所及び仕様は、リスト参照 (20.2.14)											
				施行箇所		きれ地の品質等 (製造所)	開閉形式	操作方式							
						・ 片引き ・ 引分け	※ 手動 ・ 電動								
カーテンレール及び付属金物															
施行箇所		材料による区分	形状	付属金物											
13 玄関マット															
※ SUS製 (受枠共) ローレットタイプ 1500×600 (1カ所)															
14 くつふきマット															
※ ACE デュラマツt522/Gb同等品以上 7mmゴム製 SUS受枠共															
15 鋼製書架及び物品棚															
鋼製書架 ※ J I S 1039による ・ 法務省型															
鋼製物品棚 ・ J I S 1040による															
16 点検口															
天井材種 アルミニウム製 寸法 (mm) ・ 450 x 450 ・ 600 x 600															
形式 ・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ															
床材種 厨扉はSUS製、その他アルミ製 寸法 (mm) ※ 450 x 450 ・ 600 x 600 鋲付き (600×600のみ)															
17 フェンス															
朝日フェンス ARフェンス 同等品以上															
18 手すり															
※															
①-9 天井見切り縁															
材種 ※ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品 (コ型)															
20 ビクチャーレール															
※ 見切り縁兼用タイプ ・ 廻り縁兼用タイプ ・ 壁面後付けタイプ 色：ホワイト															
移動フック 1ヶ/m 安全荷重 8kg以上															
21 視覚障害者用誘導タイル															
材種 ・ 屋内 ・ 屋外															
寸法 ※ 300 x 300 ・ 150×150															
22 手動スクリーン															
23 消火器BOX															
24 郵便ポスト															
25 ブックポスト															
26 キーボックス															
20個用既製品 スチール焼付塗装品															
27 アスベスト成形板の処理等															
処理を行うアスベスト成形板の仕様 ・ 石綿スレート ・ 石綿セメント珪酸カルシウム板 ・ その他															
施工調査															
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の次項について行う。 調査結果は、図面ににより記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 図面に記載されている使用範囲のみならず、広く確認を行う (2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲等の確認															
特記仕様書 (4)															

排水工事※記載無き項は機械設備特記仕様参照	21	1	排水管	遠心力鉄筋コンクリート管 種類 ※ 外圧管 B形 1種 継手 ※ ゴム接合 ・ モルタル接合 硬質塩化ビニル管 ・ VP ・ VU (21.2.1)(21.3.3)	23	1	植栽地の確認	土壌の酸度及び塩分量の試験 ※ 行わない ・ 行う (23.1.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
-----------------------	----	---	-----	--	----	---	--------	---------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



※改修工事設計に先立ち、工事作業に係る材料（下図参照）について
石綿含有の有無について検査を行った結果、石綿の含有は無し。

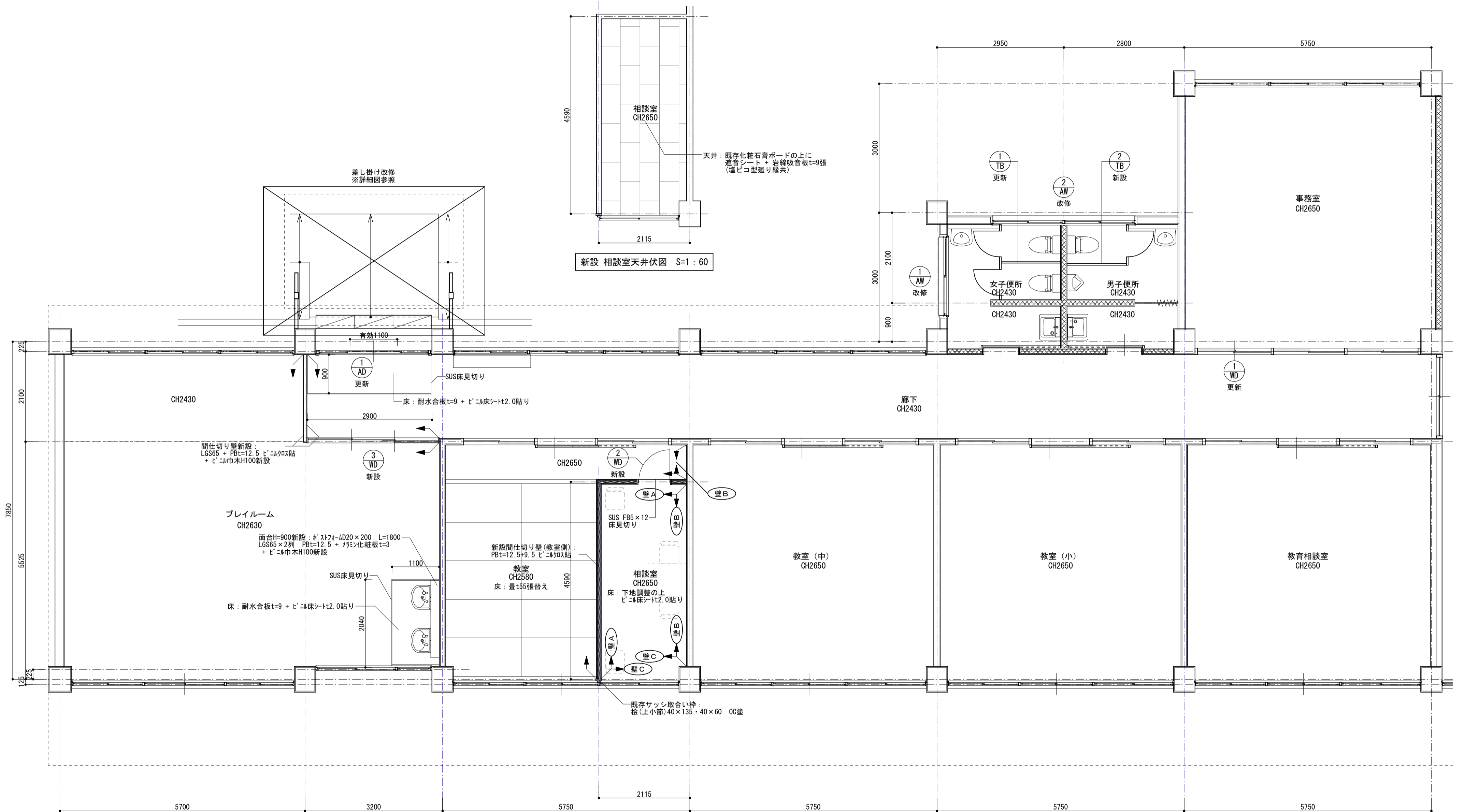


○ : 撤去建具を示す

改修前

工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事				NO A-07	
図面名 【改修前】1階平面図				SCALE 1/60	
scale = A2:100% (A3:70%縮小)				CHECKED BY	
				DRAWN BY	
				一級建築士大臣登録第292355号 岡田 良 嗣	

株式会社 ライト岡田設計



【新設相談室廻り 壁改修 凡例】

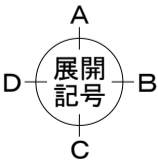
壁A：間仕切り壁新設
LGS65 + PBt=12.5+9.5ビニルクロス貼 + ビニル巾木H100新設
(遮音シート=2.8張 ロックール=55防湿フィルム貼品充填)

壁B：既存ビニルクロス剥し面
下地調整の上、ビニルクロス貼り + ビニル巾木H100新設

壁C：既存モルタル面
下地調整(RB種)の上、EP塗

1階平面図 S=1：60

※特記無き範囲は既存のままとする



：新設、更新、改修建具を示す

改修後

- 遮音シートt=2.8：大建工業 遮音シート455H同等品
- 面台ポストフォーム：アイカ工業 UYA同等品
- ビニル床シートt=2.0：東リ フロアフィルム同等品
- メラミン化粧板t=3.0：アイカ工業 セラール同等品
- 量t=55：D種

工事名 令和7年度 学びの多様な学校分教室改修工事

NO A-08
SCALE 1/60

図面名 【改修後】1階平面図

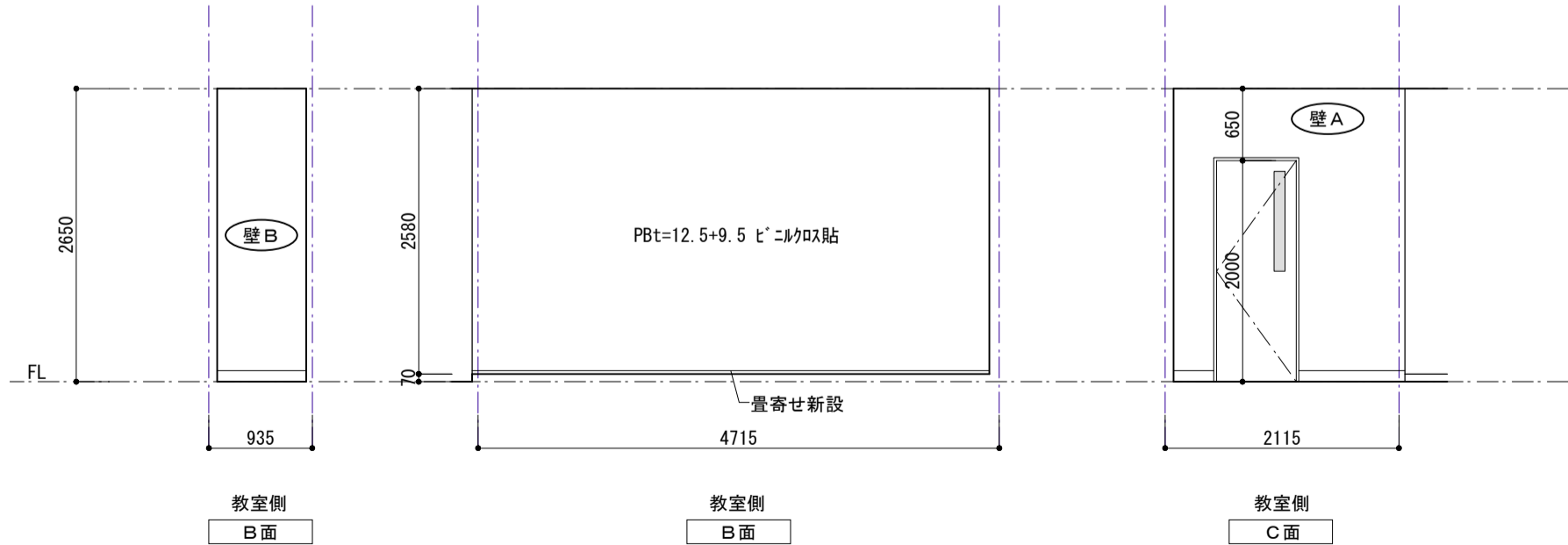
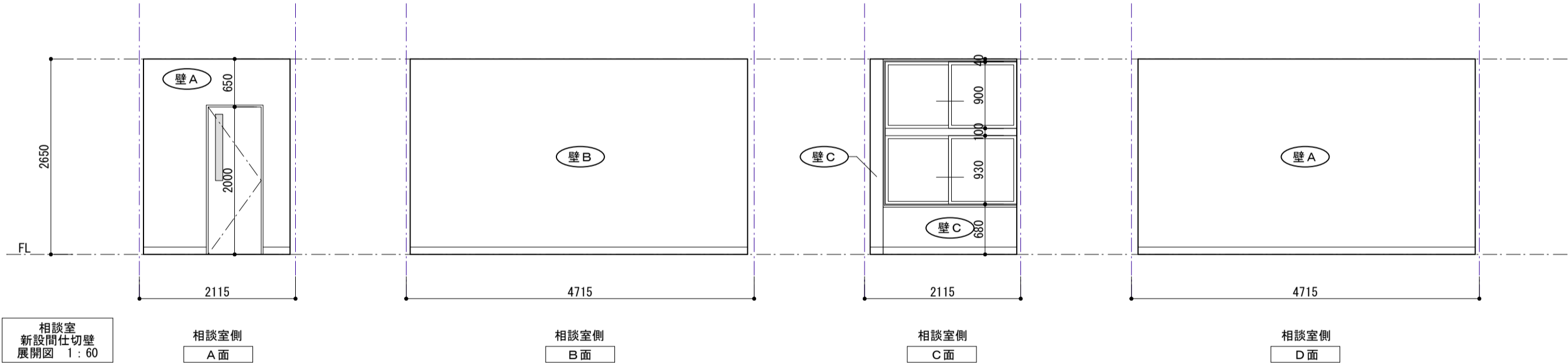
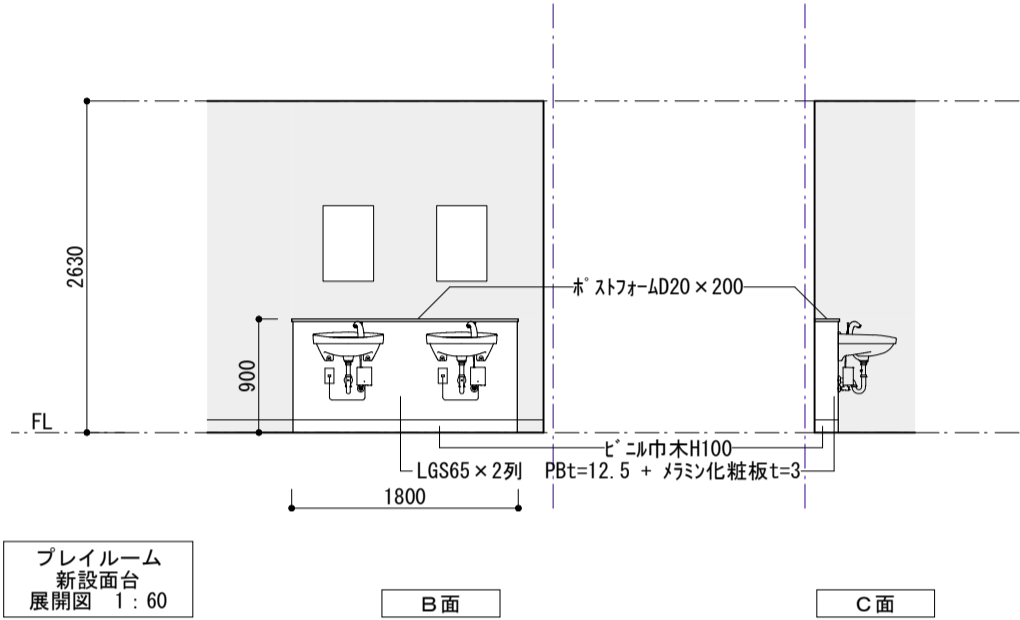
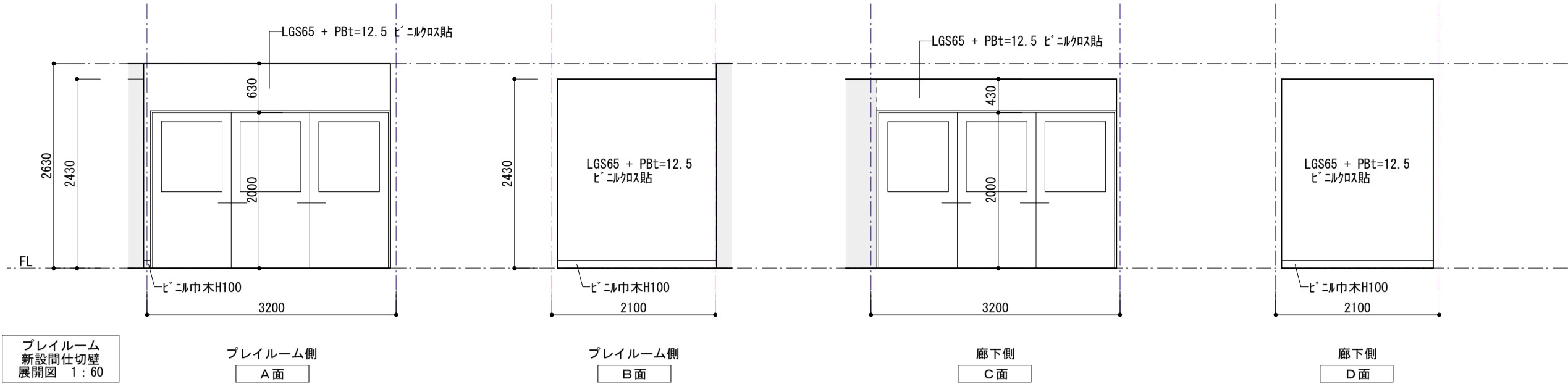
株式会社 ライト岡田設計

scale = A2：100% (A3：70%縮小)

CHECKED BY

DRAWN BY

一級建築士大臣登録第292355号 岡田 良嗣




【新設相談室廻り 壁改修 凡例】

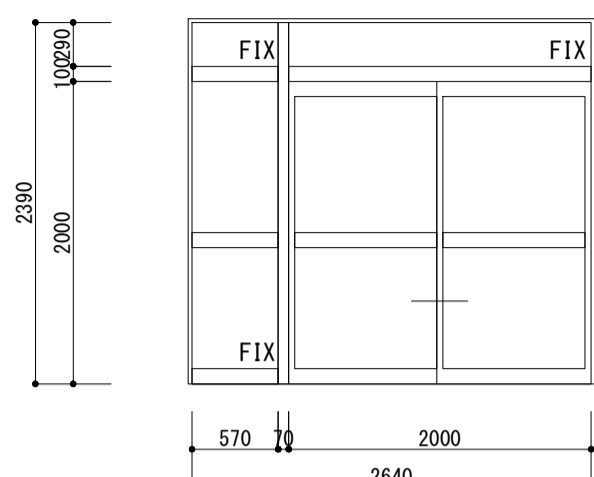
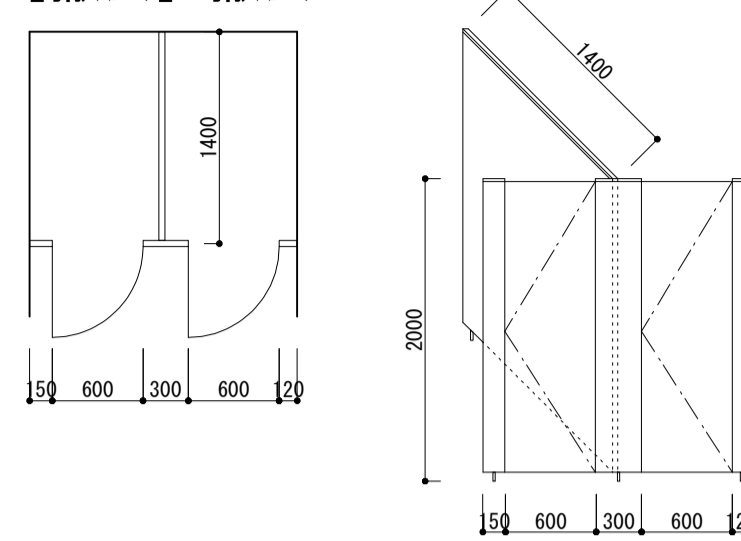
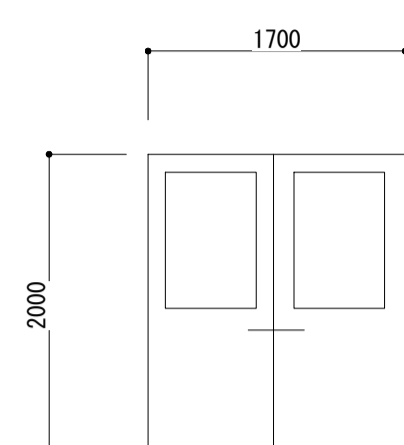
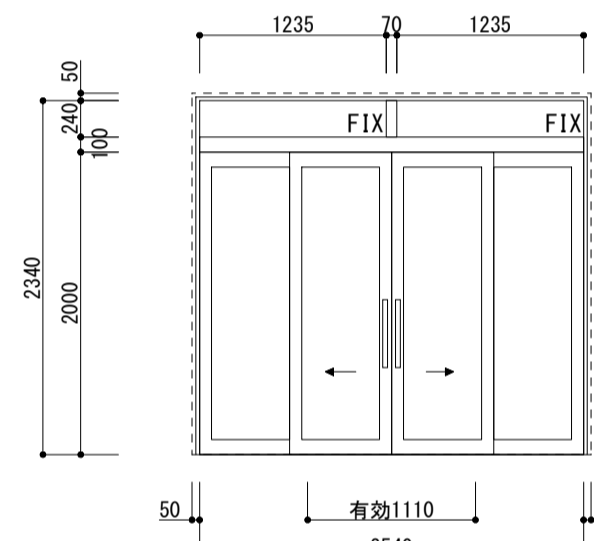
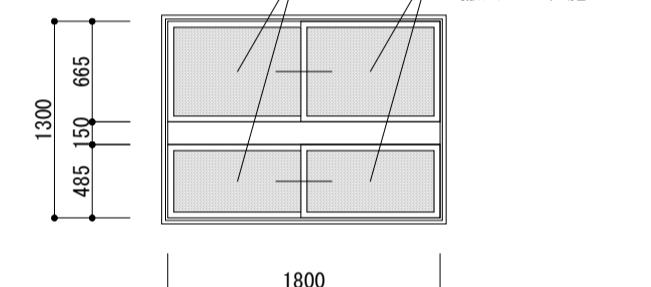
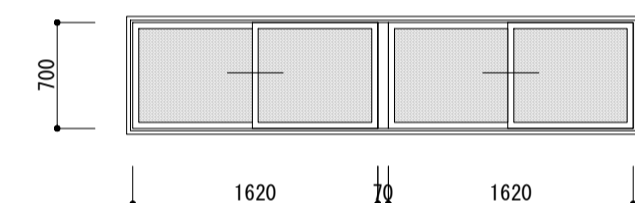
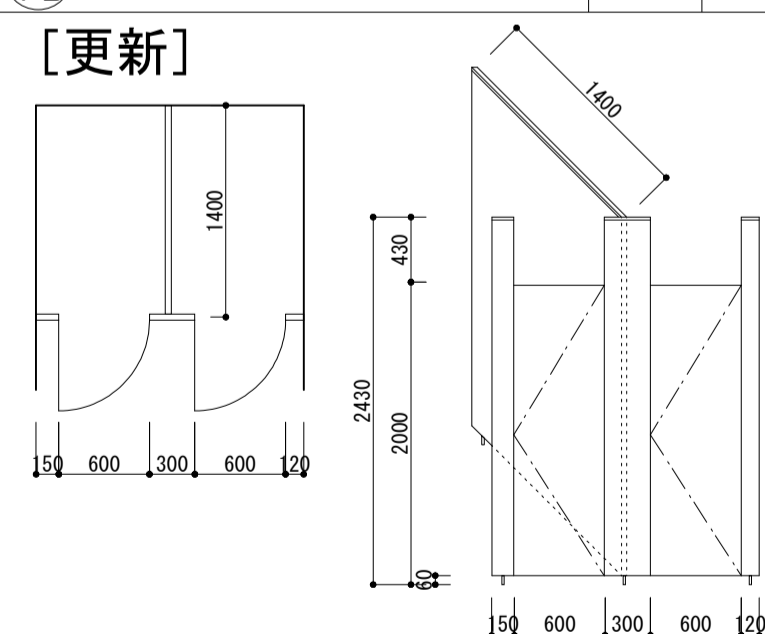
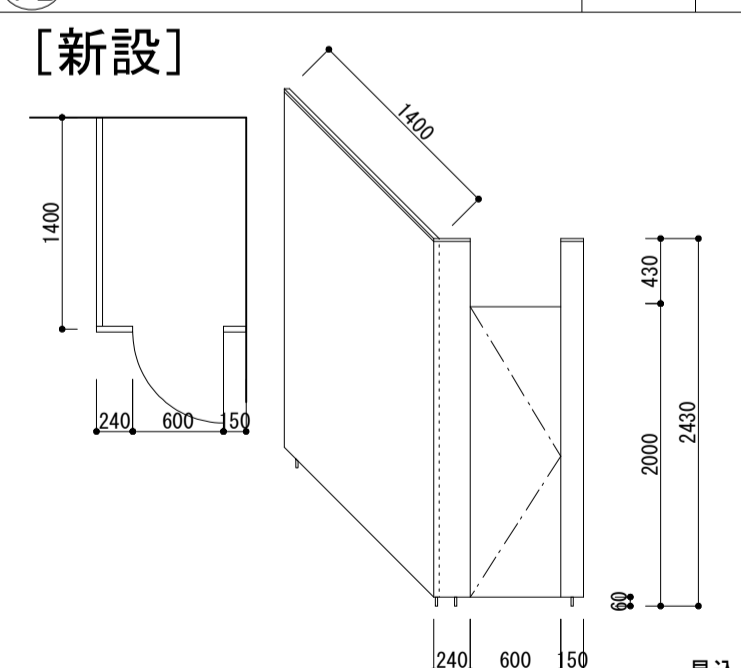
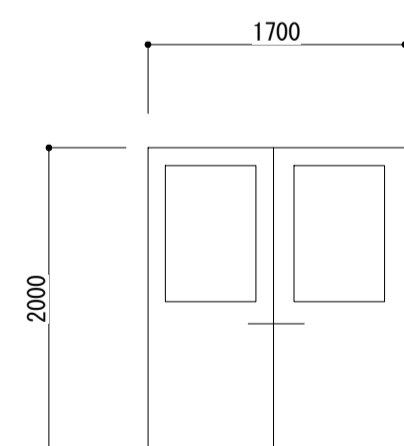
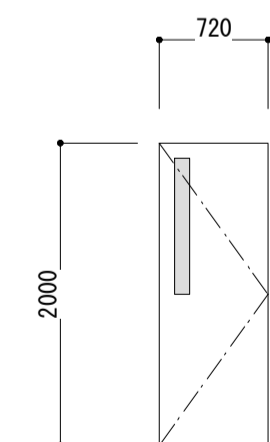
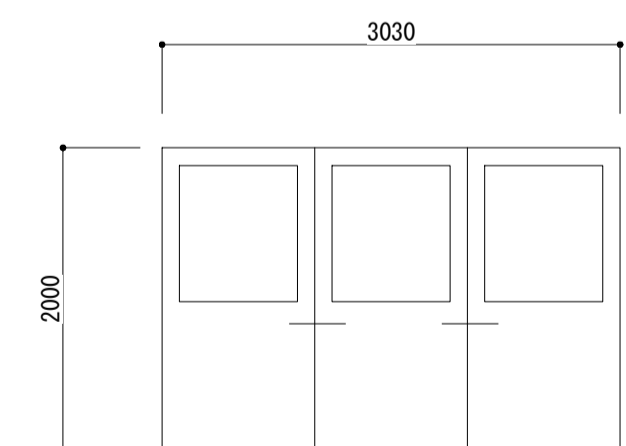

壁A：間仕切り壁新設
LGS65 + PBt=12.5+9.5 ビニルクロス貼 + ビニル巾木H100新設
(遮音シート=2.8張 ロックウール=55防湿フィルム貼品充填)

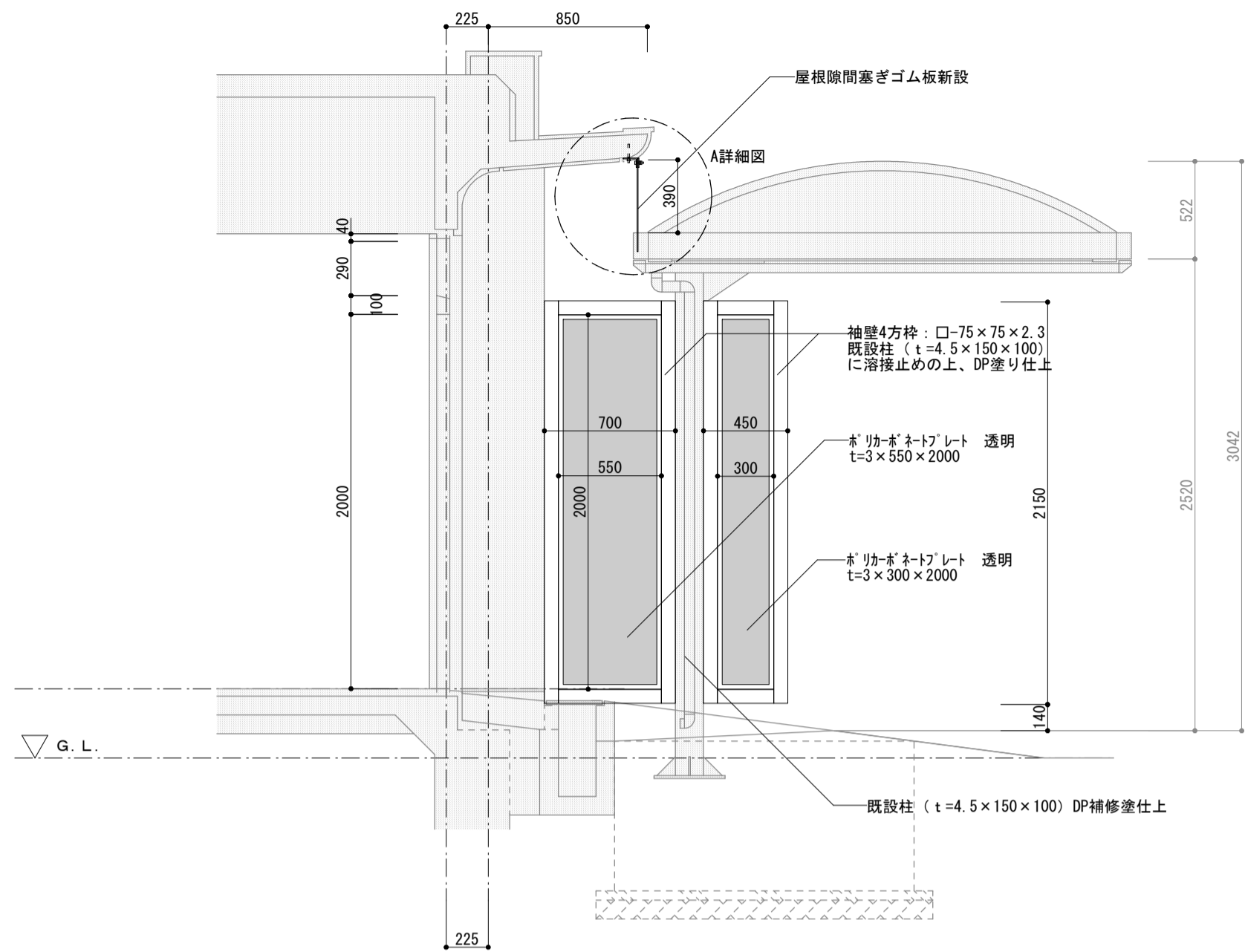
壁B：既存ビニル剥し面
下地調整の上、ビニルクロス貼り + ビニル巾木H100新設

壁C：既存モルタル面
下地調整 (RB種) の上、EP塗

改修後

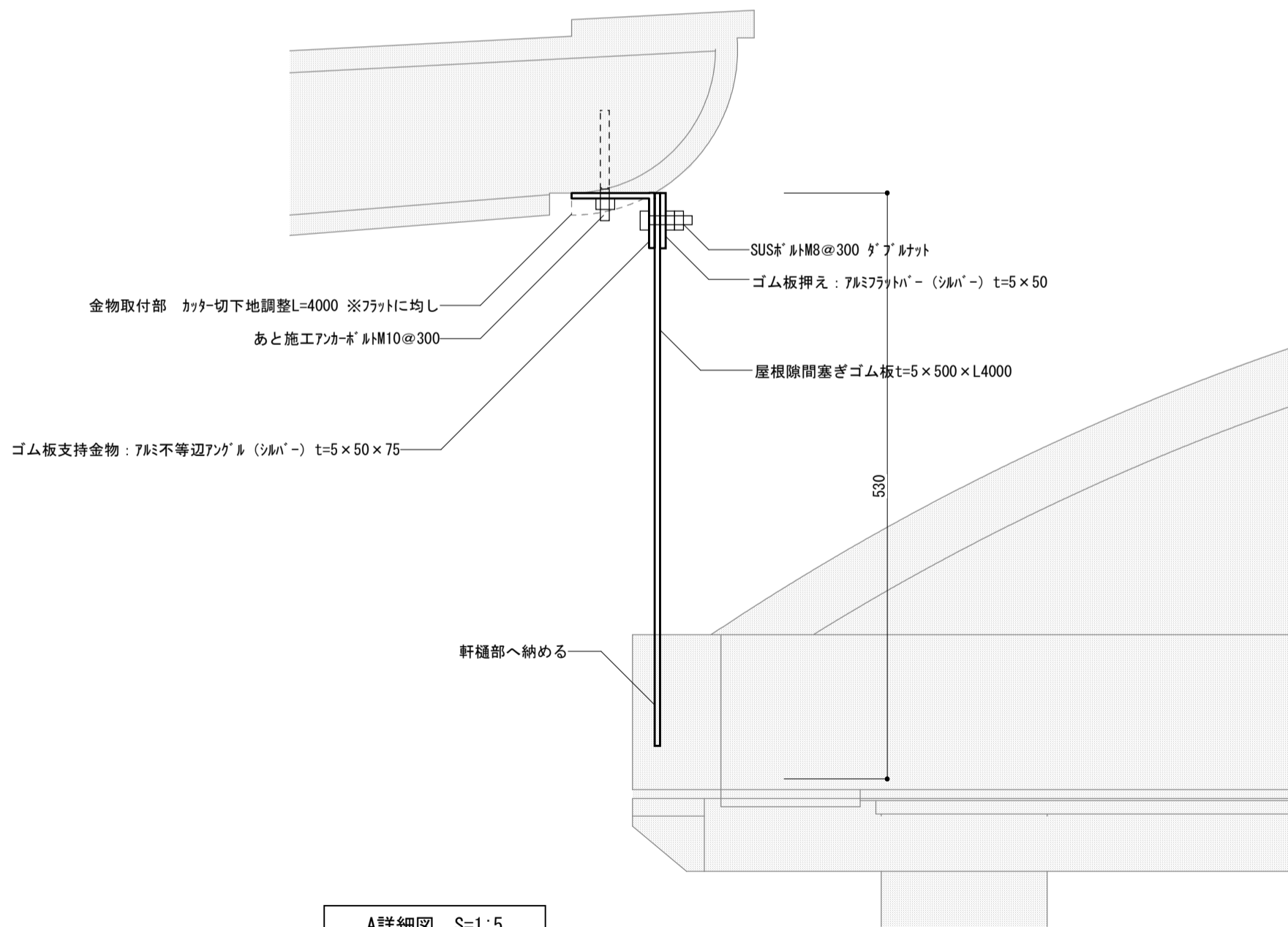
				工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事		NO A - 09	
						SCALE 1/60	
				図面名 【改修後】展開図		 株式会社 ライト岡田設計	
scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)				CHECKED BY		DRAWN BY	一級建築士大臣登録第292355号 岡田 良 嗣

記号	<div><div>1</div><div>A D</div></div> 廊下	ヶ処数	1	<div><div>1</div><div>T B</div></div> 女子便所	ヶ処数	1	<div><div>1</div><div>WD</div></div> 事務室	ヶ処数	1						
形状 寸法	[改修] 障子・方立・無目 撤去 (カバー工法サッシ取付)			[撤去] 撤去			[撤去] 障子のみ撤去								
															
	名称・材種			トイレブース (表面材高圧メラミン樹脂化粧板 心材ペーパーコア)			シバニアフラッシュ引違い戸								
	金物			引手 引き戸錠 SUS下枠 アングルピース			舟底引手 戸車 引き戸錠 フラッターレール(真鍮)※レールは既存のまま								
	塗装・仕上 ガラス			網入り透明ガラス t=6.8、ラマ部：透明ガラスt=3.0			透明ガラス t=3								
記号	<div><div>1</div><div>A D</div></div> 廊下	ヶ処数	1	<div><div>1</div><div>A W</div></div> 女子便所	ヶ処数	1	<div><div>2</div><div>A W</div></div> 女子便所～男子便所	ヶ処数	1						
形状 寸法	[更新] カバー工法にてサッシ更新			[改修] ガラス面にフィルム貼り			[改修] ガラス面にフィルム貼り								
															
	名称・材種			アルミ 両引き分枠框戸 + ラマ部FIX窓 (カバー工法にてサッシ新設)			アルミ 2連引違い窓								
	金物			SUSハンドル ML=450 引き戸錠 SUS下枠											
	塗装・仕上 ガラス			網入り透明ガラス t=6.8			透明ガラス t=3.0								
備考															
記号	<div><div>1</div><div>T B</div></div> 女子便所	ヶ処数	1	<div><div>2</div><div>T B</div></div> 男子便所	ヶ処数	1	<div><div>1</div><div>WD</div></div> 事務室	ヶ処数	1	<div><div>2</div><div>WD</div></div> 相談室	ヶ処数	1	<div><div>3</div><div>WD</div></div> プレイルーム	ヶ処数	1
形状 寸法	[更新]			[新設]			[更新] 障子更新			[新設] 扉・枠共			[新設] 扉・枠共		
															
	名称・材種			トイレブース (表面材高圧メラミン樹脂化粧板 心材ペーパーコア)			ポリ合板フラッシュ引違い戸			ポリ合板フラッシュ片開き戸			ポリ合板フラッシュ3枚引き戸		
	金物			SUS笠木 SUS巾木金物 グレベティヒンジ 戸当り 表示錠 アジャスターボルト			舟底引手 戸車 引き戸錠			レバーハンドル D.C SUS丁番 シリンダーサム錠			舟底引手 Y型フラットレール 左記用戸車 引き戸錠		
	塗装・仕上 ガラス			その他取付金物一式			OC塗 (小口)			OC塗 (小口共)			OC塗 (小口共)		
備考							強化透明ガラス t=4			型ガラス t=4			強化透明ガラス t=4		
							桧3方枠：25 x 135 OC塗 障子内ロッカール充填			桧3方枠：25 x 120 OC塗					
							工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事					NO A - 10 SCALE 1/50			
							図面名 【改修前・後】 建具リスト								
scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)							CHECKED BY		DRAWN BY		一級建築士大臣登録第292355号 岡田良嗣				

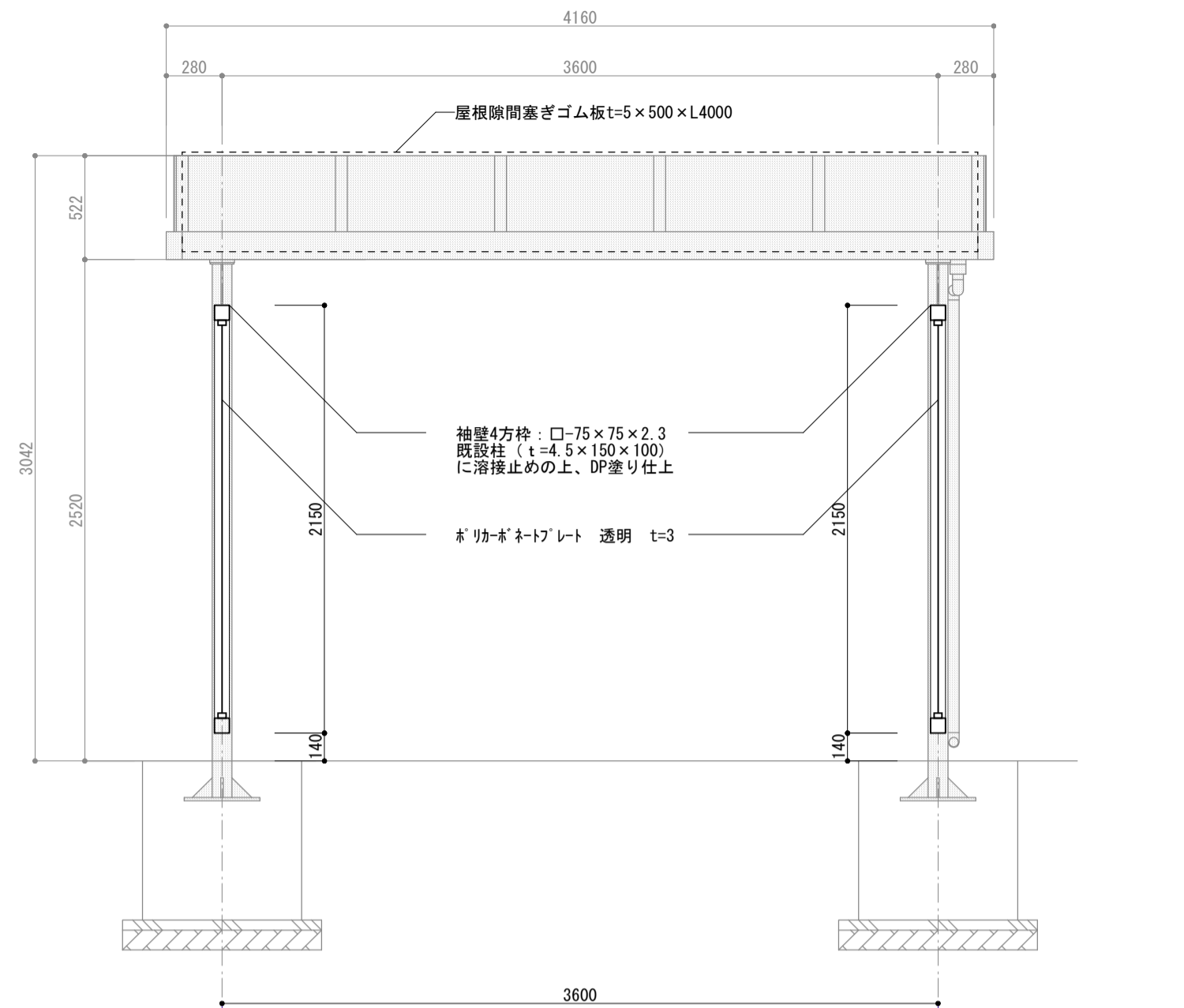


玄関差し掛け廻り改修断面図 S=1 : 30

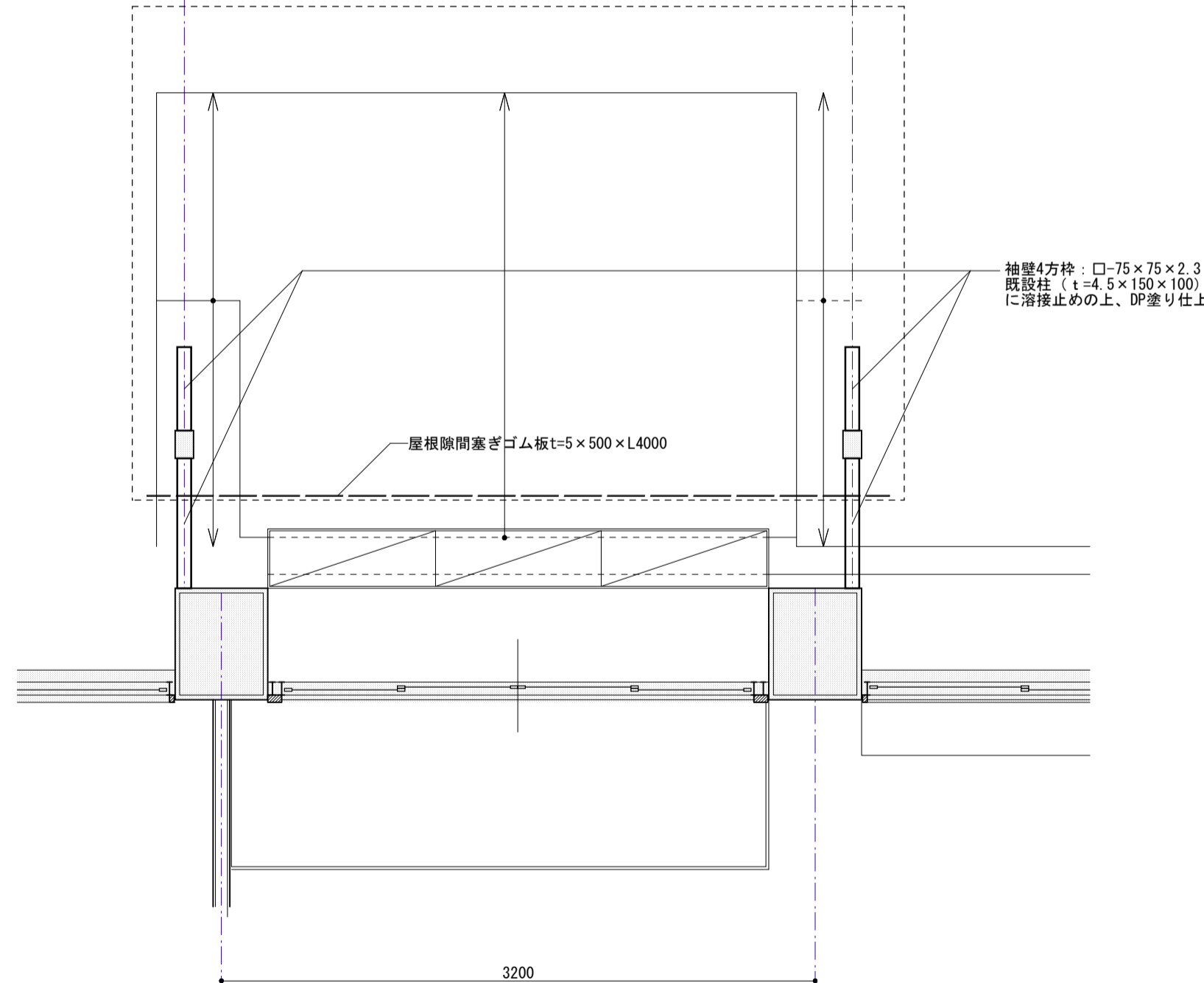
※特記無き範囲は既存のままとする



A詳細図 S=1:5



玄関差し掛け廻り改修平面図 S=1 : 30

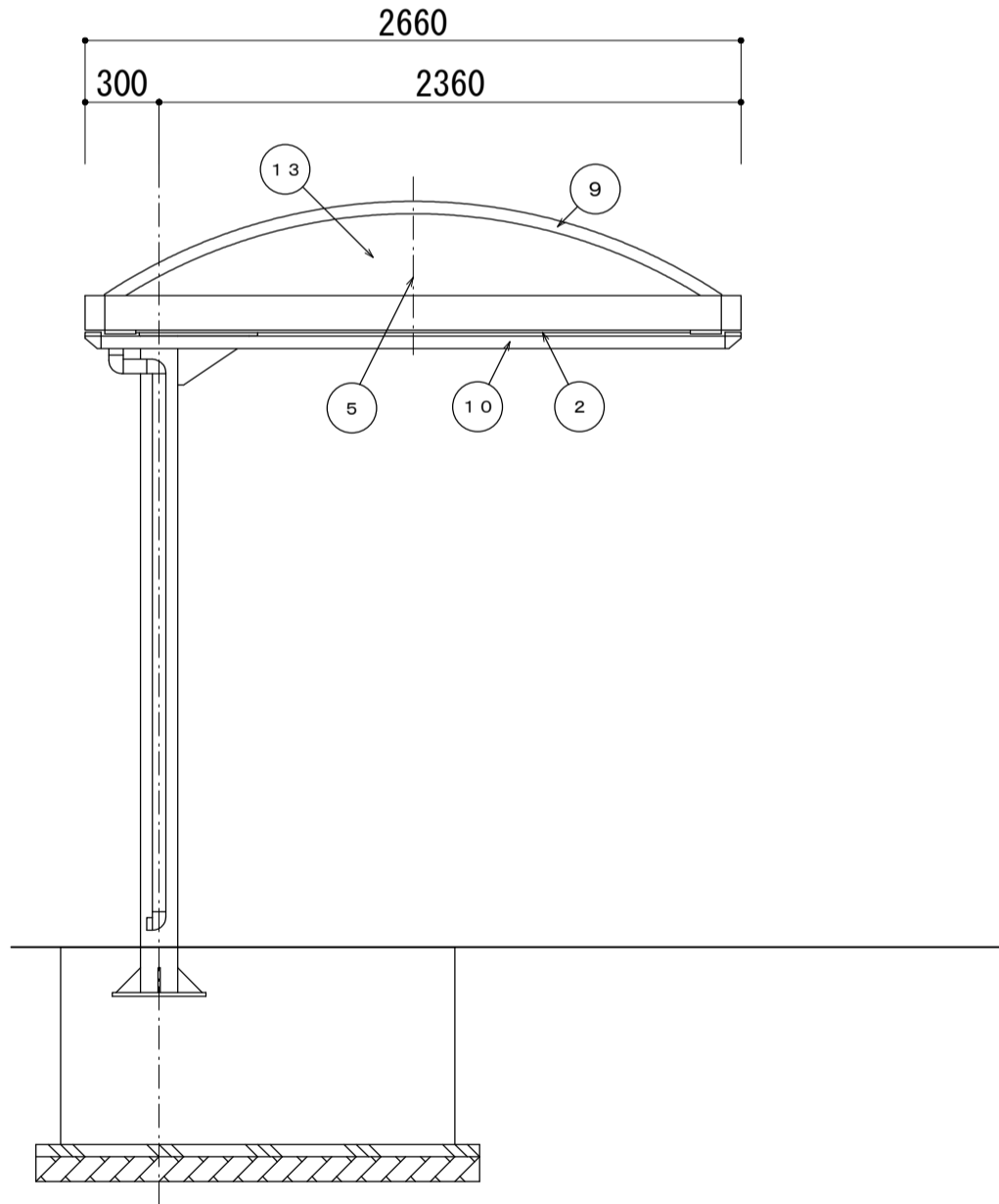
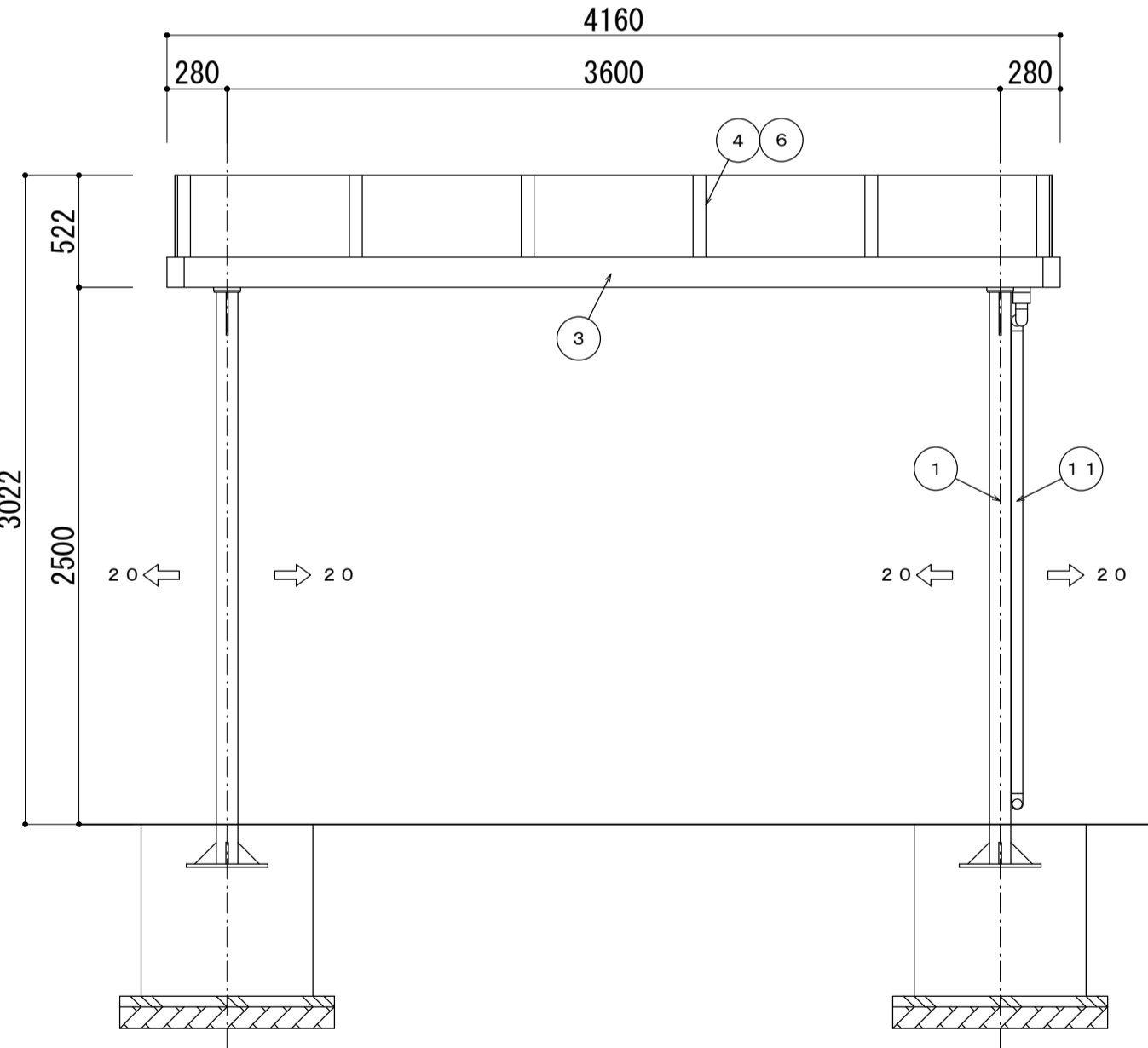
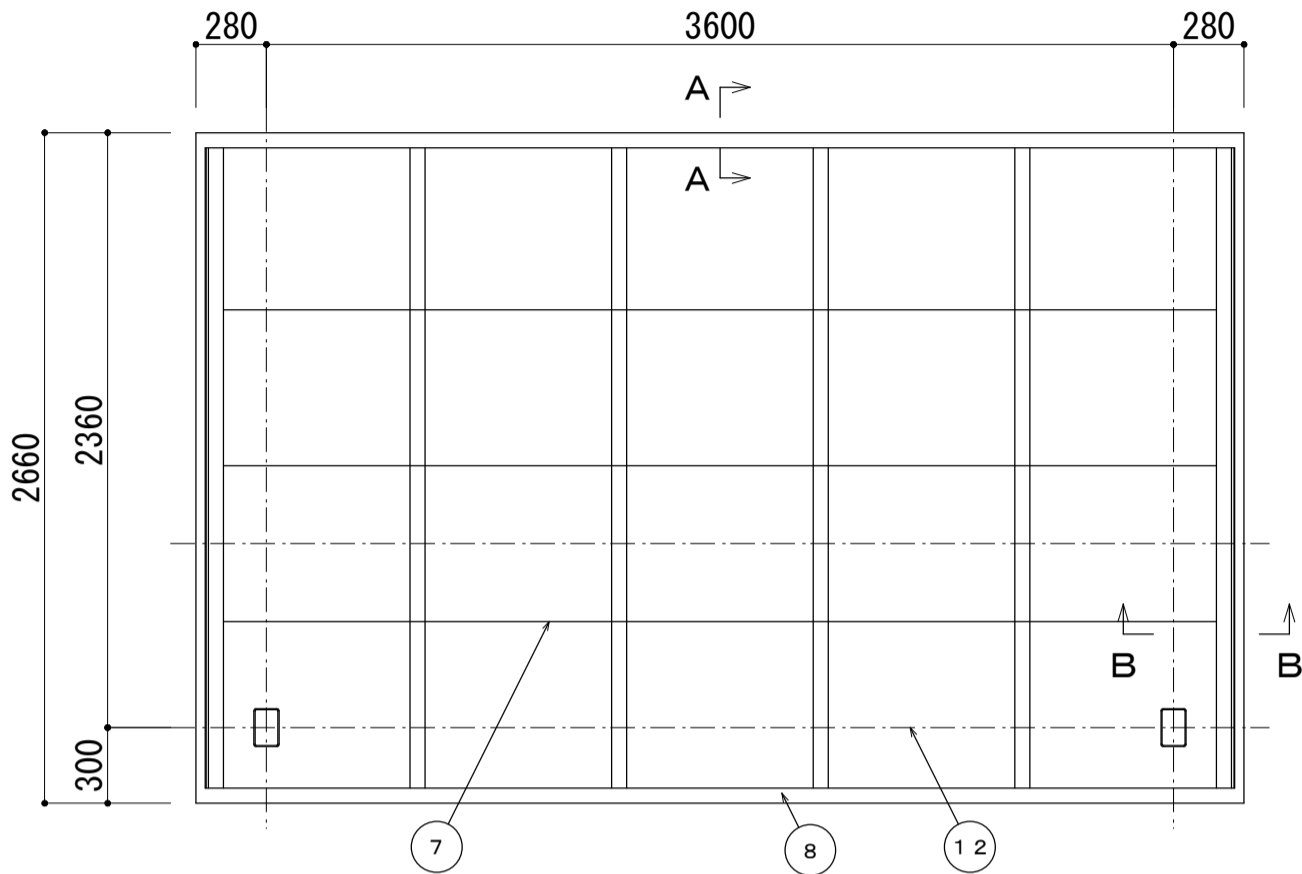


玄関差し掛け廻り改修平面図 S=1 : 30

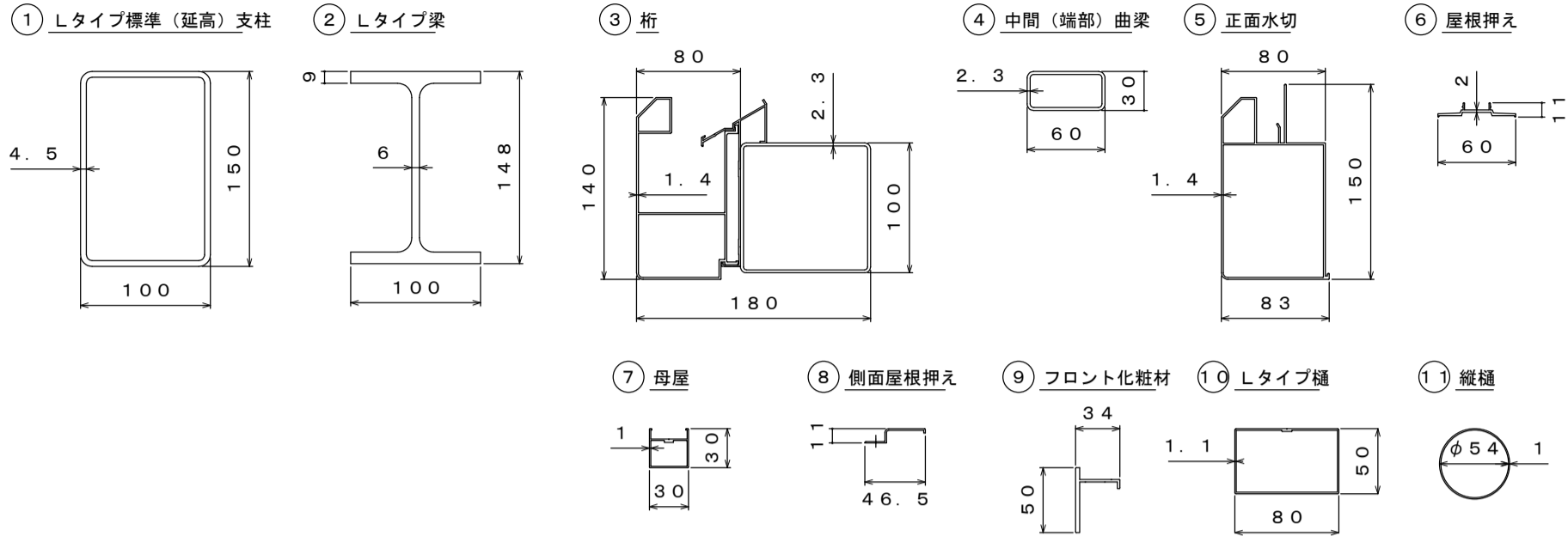
※特記無き範囲は既存のままとする

改修後

工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事				NO A - 11
図面名 【改修後】玄関差し掛け改修図				SCALE 1/30
scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)				
CHECKED BY		DRAWN BY		
一級建築士大臣登録第292355号 岡田 良 嗣				



主要部材断面図 (S=1/5)

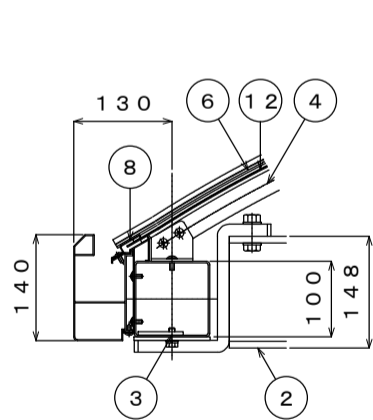


注記4) 本体S C色の場合、※印部材はポリエステル粉体塗装。

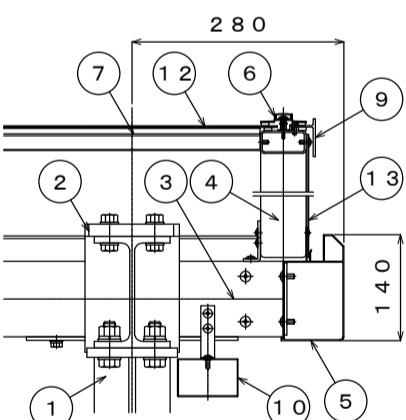
ボルト類	ステンレス (SUS304)
基礎ボルト	クロメートメッキ
13 フロントパネル	熱線遮断ポリカーボネート板 またはアルミ板
12 屋根材	熱線遮断ポリカーボネート板 またはアルミ板
11 縦樋	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
10 Lタイプ樋	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
※ 9 フロント化粧材	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
8 側面屋根押え	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
7 母屋	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
6 屋根押え	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
5 正面水切	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
4 中間曲梁 端部曲梁	STKR 溶融亜鉛メッキ鋼材 ポリエステル粉体塗装
3 桁	溶融亜鉛メッキ鋼材 ポリエステル粉体塗装 アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
2 Lタイプ梁	SS400 ポリエステル粉体塗装
1 Lタイプ標準支柱 Lタイプ延高支柱	STKR ポリエステル粉体塗装

型式コード	間口W (mm)	高さH (mm)
SOL- (P・A) 2641	2660	3022

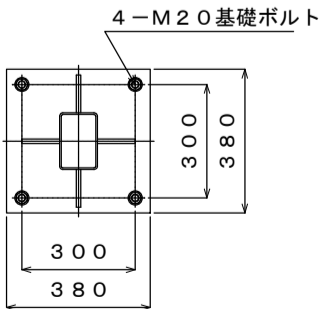
A-A断面図 (S=1/10)



B-B断面図 (S=1/10)



支柱ベース詳細図 (S=1/20)



参考図

工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事

NO A-12

SCALE 1/30

図面名 【参考図】既存 玄関差し掛け詳細図

株式会社 ライト岡田設計

scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)

CHECKED BY

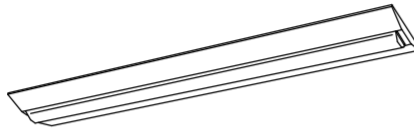
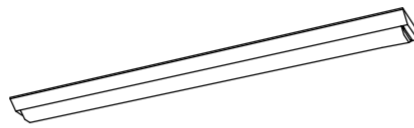
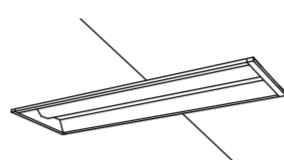
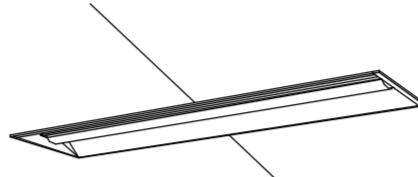
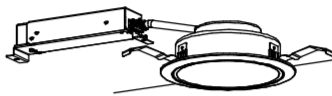



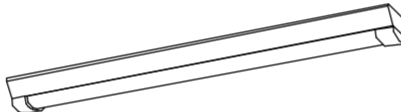
DRAWN BY

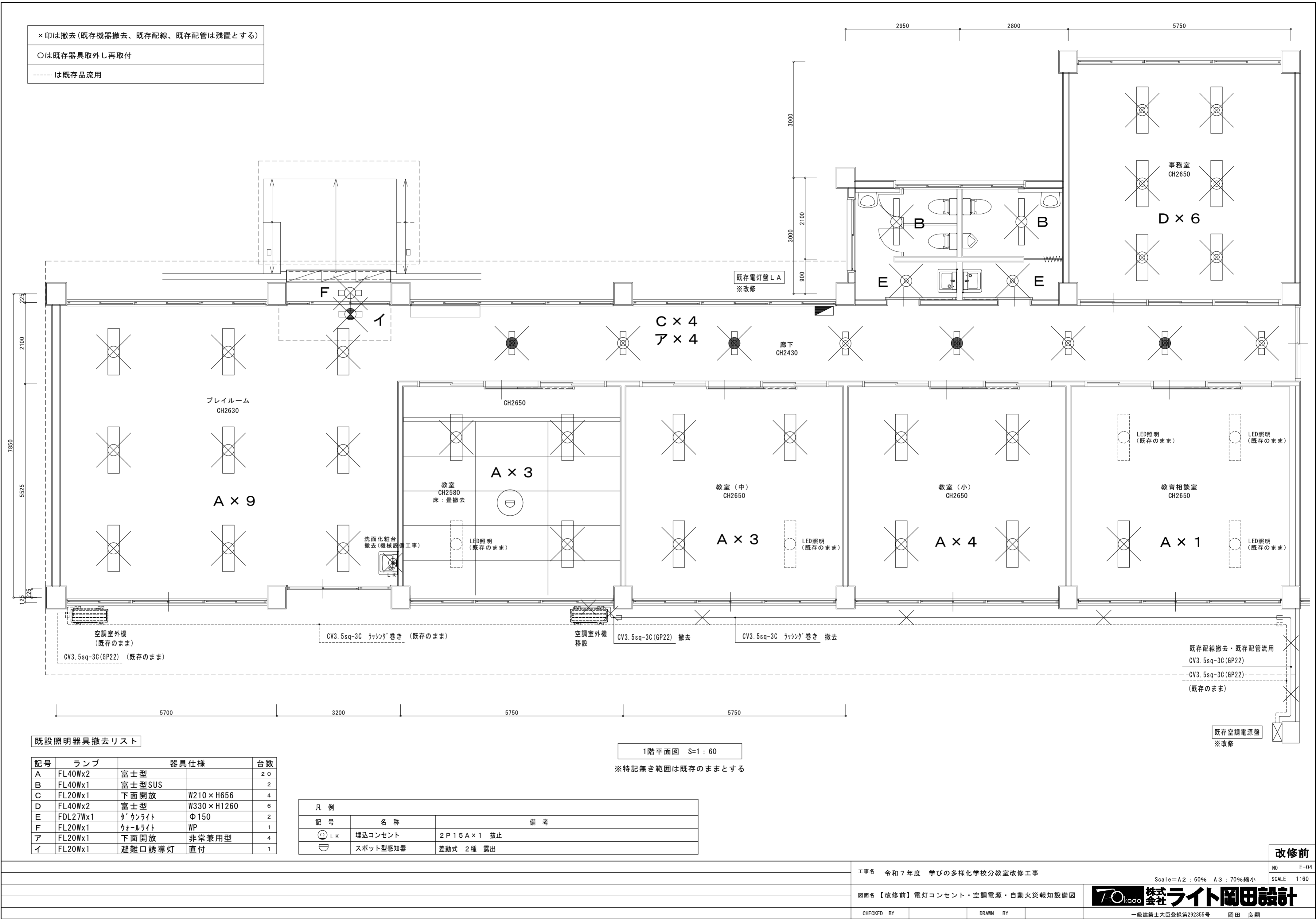
一級建築士大臣登録第292355号

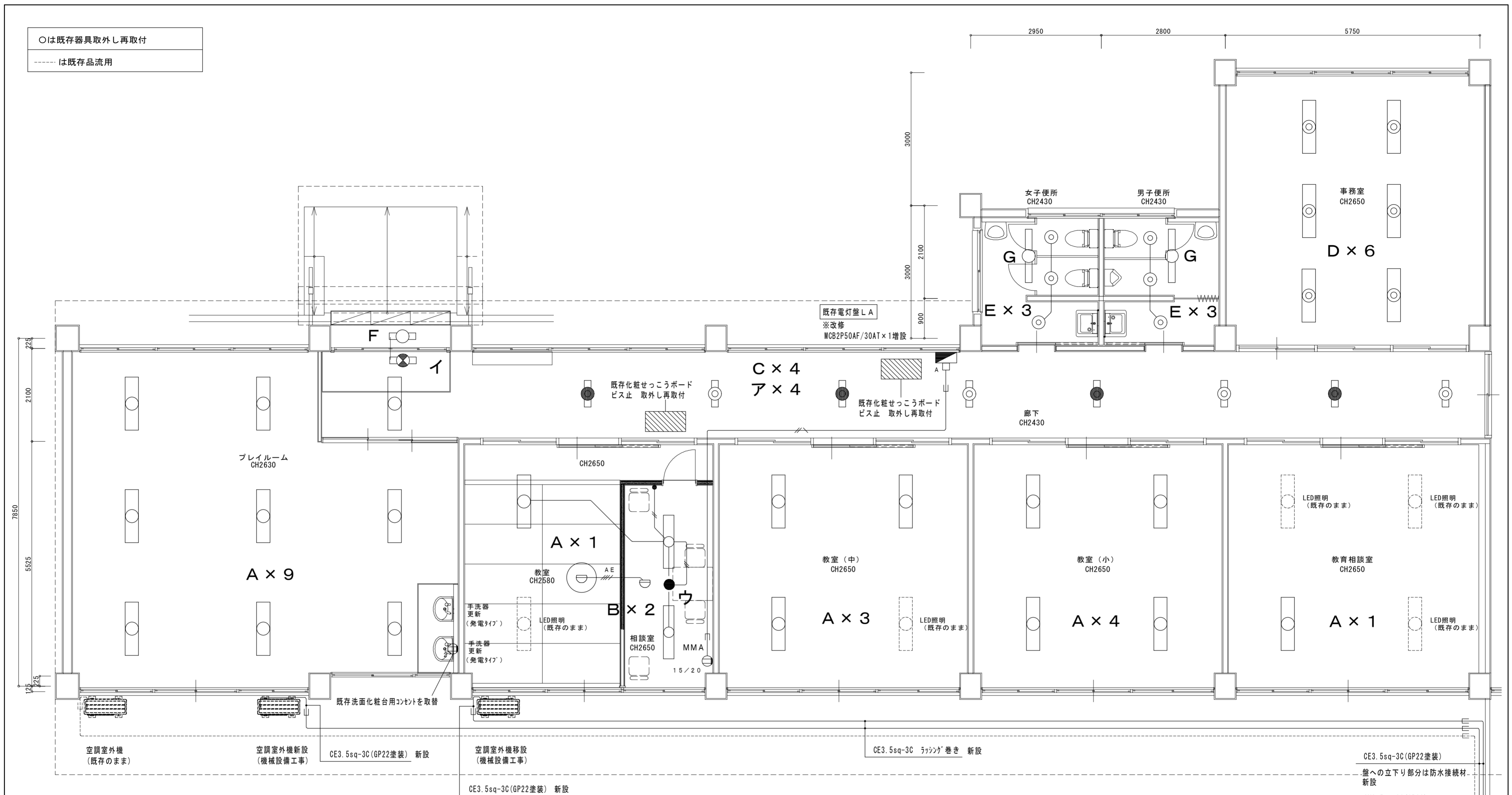
岡田良嗣

機材名	指定品	機材名	指定品	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名						
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			LED照明器具	(株) 因幡電機製作所 岩 崎 電 気 (株) (株) 遠藤照明 大光電機 (株) 東芝ライテック (株) パナソニック (株) 三菱電機照明 (株)	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙカリ蓄電池 ※3 据置ニッケル・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙカリ蓄電池に限る	(株) GSユアサ 日立化成(株) ※3 古河電池(株)								
電線類等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書 (電気設備工事編)			照明制御装置	東芝ライテック(株) パナソニック (株) 三菱電機照明(株)	監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業システム T O A (株) パナソニック (株) (株)日立国際電気 三菱電機(株)								
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	(株) 日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株) 安川電機	盤類(公共建築工事標準仕様) 分電盤・制御盤 キュービクル式配電盤	(株) イトウテック 共 栄 電 機 工 業 (株) 光 電 設 (株) 上記の他、令和2年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの								
配線器具類	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機 (真空)	東芝インフラシステムｽﾞ (株) 日 新 電 機 (株) (株)日立産機システム 富士電機 (株) 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株) (株) 明 電 舎		太陽光発電装置			(株) 三社電機製作所 山洋電気 (株) (株) GSユアサ 東芝インフラシステムｽﾞ (株) パナソニック (株) 富士電機 (株) 三菱電機 (株) (株) 京セラソーラーコーポレーション					
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝インフラシステムｽﾞ (株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株)	交流無停電電源装置 (UPS)				サンケン電気 (株) (株) 三社電機製作所 山洋電気 (株) (株) GSユアサ 東芝インフラシステムｽﾞ (株) 日立化成(株) 富士電機 (株) 古 河 電 池 (株) 三菱電機 (株) (株) 明電舎					
電磁接触器 JIS C 8201-1、JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート(株) 大垣電機 (株) (株)新愛知電機製作所 (株) 戸上電機製作所 日本高圧電気(株) (株) 日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株)										
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	(株) 指月電機製作所 東芝インフラシステムｽﾞ (株) ニ チ コ ン (株) 日 新 電 機 (株) 三 菱 電 機 (株) ※1 モールドコンデンサに限る	※2 モールド変圧器に限る									
指示電気計器 JISC1102 (指示電気計器)	J I S マーク表示品			高圧用変圧器	愛知電機 (株) 四 変 テ ッ ク (株) (株) ダイ ヘ ン タカオ化成工業 (株)※2 (株) 東 光 高 岳 東芝インフラシステムｽﾞ (株) 日 新 電 機 (株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株) 明 電 舎 利 昌 工 業 (株) ※2										
非常用照明器具	(社) 日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの														
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの														
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの														
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの														
自動閉鎖装置	運動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの														
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの														
非常警報装置 (非常ベル)	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの														
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの														
構内交換装置	(財) 電気通信端末機器 審査協会の認定品														
							工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事								
							図面名 電気設備工事 機材指定表				NO E-02				
							CHECKED BY				SCALE Noscale				
							DRAWN BY				一級建築士大臣登録第292355号 岡田 良嗣				
						一級建築士大臣登録第308219号 津野 誠司									
						<div><div><div>ADO</div><div>株式会社</div></div><div>ライト岡田設計</div></div>									

参考照明器具姿図

A	LED一体型ベースライト40形 W230 6900lm	B	LED一体型ベースライト40形 W150 6900lm	C	LED一体型ベースライト20形 W190 1600lm	D	LED一体型ベースライト40形 W300 6900lm	E	LEDダウンライト 100形																																																																									
消費電力：43.1W		消費電力：43.1W		消費電力：11.6W		消費電力：43.1W		消費電力：7W																																																																										
																																																																																		
一般タイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS10-4-65		一般タイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS9-4-65		一般タイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 埋込XF×210RENLE9		リニューアル用、一般タイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板、反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LRS20-4-65		LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：1045lm、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150 LRS1-08																																																																										
F	LEDウォールライト 20形 防雨型	G	LED一体型ベースライト40形 W150 2500lm	ア	LED一体型非常兼用照明20形 W190 リモコン自己点検機能付	イ	LED避難口誘導灯 B級・BL形 片面型	ウ	LED非常照明 リモコン自己点検機能付																																																																									
消費電力：10W		消費電力：16.3W		消費電力：12.7W																																																																														
				非常灯タイプ、1600lm（FL20形×2灯器具相当） 常時：非常用ライトバー点灯 非常時：非常灯本体組込LED（一般出力型）点灯 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 リニューアル専用、非常灯認定番号：LAL-E-027 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白） 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付、 充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売） パナソニック 埋込XDL213RGNLE9		LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209 SH1-FBF20-BL		φ100低天井・小空間用（～3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時：非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯認定番号：LAL-E-004 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売） K1-LRS11-1																																																																										
LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83 器具光束990lm、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23 LBFPMP/RP-2-06		一般タイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白） アクリルコーティング IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS9MP/RP-4-22		器具取付高さ <table><tr><td></td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td rowspan="2">単体配置</td><td>A1</td><td>5.4</td><td>5.7</td><td>5.8</td><td>6.0</td><td>4.4</td></tr><tr><td>B1</td><td>5.4</td><td>5.6</td><td>5.8</td><td>5.9</td><td>5.2</td></tr><tr><td rowspan="2">直線配置</td><td>B*1</td><td>4.9</td><td>5.1</td><td>5.2</td><td>5.2</td><td>4.2</td></tr><tr><td>A2</td><td>12.6</td><td>13.5</td><td>14.0</td><td>15.0</td><td>16.4</td></tr><tr><td rowspan="2">四角配置</td><td>B2</td><td>12.0</td><td>12.9</td><td>13.5</td><td>14.4</td><td>15.5</td></tr><tr><td>A4</td><td>11.1</td><td>11.8</td><td>12.2</td><td>12.9</td><td>14.6</td></tr><tr><td></td><td>B4</td><td>10.4</td><td>11.2</td><td>11.7</td><td>12.7</td><td>14.5</td></tr></table>			2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	5.4	5.7	5.8	6.0	4.4	B1	5.4	5.6	5.8	5.9	5.2	直線配置	B*1	4.9	5.1	5.2	5.2	4.2	A2	12.6	13.5	14.0	15.0	16.4	四角配置	B2	12.0	12.9	13.5	14.4	15.5	A4	11.1	11.8	12.2	12.9	14.6		B4	10.4	11.2	11.7	12.7	14.5	器具取付高さ <table><tr><td></td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>2.8</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>8.5</td><td>9.4</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>6.9</td><td>7.6</td><td>8.1</td><td>8.9</td></tr></table>			2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9
	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																													
単体配置	A1	5.4	5.7	5.8	6.0	4.4																																																																												
	B1	5.4	5.6	5.8	5.9	5.2																																																																												
直線配置	B*1	4.9	5.1	5.2	5.2	4.2																																																																												
	A2	12.6	13.5	14.0	15.0	16.4																																																																												
四角配置	B2	12.0	12.9	13.5	14.4	15.5																																																																												
	A4	11.1	11.8	12.2	12.9	14.6																																																																												
	B4	10.4	11.2	11.7	12.7	14.5																																																																												
	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																																																																														
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8																																																																													
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1																																																																													
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9																																																																													











1階平面図 S=1 : 60

※特記無き範囲は既存のままとする

凡 例			
記 号	名 称	備 考	
●	埋込スイッチ	1 P 1 5 A × 1	新金属プレート
⊕ 2	埋込コンセント	2 P 1 5 A × 2	〃
⊕ 1 5 / 2 0	〃	2 P 1 5 / 2 0 A × 1 E E T	露出スイッチボックス (MMA) 1個用に取付 〃
□ A	ジョイントボックス	MMA用	
⌒	スポット型感知器	差動式 2 種 露出	

注記事項		
図中明記なき配管記線は下記による。		
	E E F 1. 6-2 C	コロガシ
	E E F 1. 6-3 C	"
	E E F 2. 0-3 C	"
	一種金属線び(MMA)で保護	露出
	A E O. 9-4 C	コロガシ

※新設壁への立下りは電線管(PF)で保護とする

※新設壁への立下りは電線管(PF)で保護とする				改修後	
				工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事	
				NO E-05	
				Scale = A2 : 60% A3 : 70%縮小	
				SCALE 1:60	
図面名 【改修後】電灯コンセント・空調電源・自動火災報知設備				 ライト岡田設計	
CHECKED BY				DRAWN BY	
一級建築士大臣登録第292355号				岡田 良嗣	

機 械 設 備 特 記 仕 様 書

工事名称	令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事	棟 名	構 造	階 数	延床面積 (㎡)	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
	設計年度(設計図) 令和 7 年度			1			
	工事期間(完成図) 年 月 日～ 年 月 日			戸 数			
	工事場所			1			

I 共通事項		特 記 仕 様 (●印をつけたものを適用する)	
種 目	項 目		
一 般 通 様	残 土 処 分	○ 構外搬出 ○ 構内敷ならし ○ 構内指示の場所にたいせき	
	埋 設 深 さ (管 上)	○ 一般敷地3 0 0 mm以上 ○ 車両通路6 0 0 mm以上 ○ 公道8 0 0 mm以上 ○ 公道1, 0 0 0 mm以上 ○ 公道1, 2 0 0 mm以上。	
	埋 設 管 の 保 護	○ 埋設管は周囲1 0 0 mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。	
	コンクリート工事／骨材はつり・非破壊検査	● 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。	
	配 管 の 支 持	● 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ● はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 ● 一階土間コンクリート下部配管はステンレス吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ● 屋外及びビッド内配管の支持金物・吊り金物はSUS製又は亜鉛ドブ漬とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ● 機器固定ナットはワザナット又は2重ナットとする。 ● 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分はバ付鋼管スリーブ等、地中部で水密を要しない部分はVPスリーブ。柱、梁以外の箇所、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。) ● 特記なき事項は「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」 (但し改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 最新版)」による。 ● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真の撮り方 建築設備編」 ○ 国土交通省仕様 ● メーカー仕様 ○ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。) ・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温度度の測定 ・騒音の測定 ・室内気流及びじんあいの測定 ・飲料水の水質の測定 ● 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。 建物の種別： ○特定の施設 ●一般の施設 地域係数： ●0.9 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。	
耐 震 措 置	機 器 類	一般の施設	
	総 合 調 整	重要機器	
	耐 震 措 置	一般の施設	
	建 設 副 産 物	重要機器	
	技 能 士 の 適 用	重要機器	
完 成 図 の 提 出 方 法	完 成 図 の 提 出 方 法	重要機器	
	完 成 図 の 提 出 方 法	重要機器	
	完 成 図 の 提 出 方 法	重要機器	
	完 成 図 の 提 出 方 法	重要機器	
	完 成 図 の 提 出 方 法	重要機器	
配 管	① 配管用炭素鋼鋼管【SGP黒管】(JIS G 3452)	⑬ 外面被覆鋼管【M】(JIS H 3330)	⑳ 排水用鉄鉄管【メカニカル2種管】(JIS G 5525)
	② 配管用炭素鋼鋼管【SGP白管】(JIS G 3452)	⑭ 耐熱性硬質塩化ビニル管【HTVP】(JIS K 6776)	㉑ 鉛管(HASS 203)
	③ 水道用硬質塩化ビニル管【銅管】(JWWA K 116-WSP 011)	⑮ 水道用硬質塩化ビニル管【VWP】(JIS K 6742)	㉒ 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741)
	④ 水道用内外面硬質塩化ビニル管【銅管】(JWWA K 116)	⑯ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管【HIVP】(JIS K 6742)	㉓ 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741)
	⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管【SGP-PA】(JWWA K 132-WSP 039)	⑰ 水道用ポリ塩化ビニル管【RR-VP】(JWWA K 127)	㉔ 耐火二層ビニル管【内管VP】
材	⑥ ポリエチレン外面被覆鋼管【黒管】	⑱ 水道用ポリ塩化ビニル管【RR-HIVP】(JWWA K 129)	㉕ 銅形管【メカニカル】(JAWAS K-3)
	⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管【銅管】(JWWA K 140)	⑲ 水道用ポリエチレン二層管【JIS K 6762】	㉖ 銅管【JIS A 5372】
	⑧ 内外面耐熱性硬質塩化ビニル管【銅管】(JWWA K 140)	⑳ 水道配水管用ポリエチレン管【JWWA K 144】	㉗ 冷媒用被覆鋼管
	⑨ 一般配管用ステンレス鋼鋼管【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)	㉑ 架橋用ポリエチレン管【JIS K 6769】	㉘ 塩化ビニル外面被覆鋼管【ポリエチレン・内管JIS G 3452】
	⑩ 配管用ステンレス鋼鋼管【JIS G 3459】	㉒ ポリブチレン管【JIS K 6778】	㉙ ポリブチレン管【JIS K 6774】
料	⑪ 水道用ダクタイル鉄管【JWWA K 113】	㉓ 排水用硬質塩化ビニル管【D-VA】(WSP 042)	㉚ 保温付ドレンパイプ
	⑫ 鋼管【M】(JIS H 3300)	㉔ 排水用ポリエチレン管【SGP-TA】(WSP 032)	㉛ -
	管 工種\場所	管 工種\場所	管 工種\場所
	給 水 (直圧)	消 火	消 火
	給 水 (一般)	給 湯	給 湯
分	排 水	器 具 接 続	器 具 接 続
	雨 水	冷 温 水	冷 温 水
	通 風	冷 媒	冷 媒
	分 配	ド レ ン	ド レ ン
	分 配	ド レ ン	ド レ ン
塗 装 ・ 防 食	○ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライ)を施す。 ○ 鋼管・鉛管のコンクリート内配管には「ラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。		
	○ 土中埋設する鋼鉄管、鋼鉄異形管(小型継手共)及び特殊継手類はポリウレタン巻きとする。		
	工種\場所	工種\場所	工種\場所
	給 水	給 水	給 水
	排 水・空調ドレン	排 水・空調ドレン	排 水・空調ドレン
保 温 ・ 防 露	給 湯	給 湯	給 湯
	冷水・冷温水管	冷水・冷温水管	冷水・冷温水管
	冷 媒 管	冷 媒 管	冷 媒 管
	矩形ダクト	矩形ダクト	矩形ダクト
	スリットダクト	スリットダクト	スリットダクト
表 示	○ 機械室、PSの配管には流体種別・流れ方向を明示し、弁には常時開閉を記入したワザナットを付ける。 ○ 配管の埋戻し時は、6L-200mm程度に埋設表示用ワザナットを埋設する。(排水・通気管を除く)		
	○ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように表示板(柱)を付ける。 ○ 配管BOX内部に系統名・管径・設置年月を書いたワザナットを入れる。(制水弁はワザナットを納入)		
	● 空調室外機には、設置年月を書いたキャティングシートを貼る。		
	○ 引渡しを要するもの() ○ 現場において再利用を図るもの()		
	○ 再生資源化を図るもの・コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。		
発 生 材 の 処 理	対象建築材料等	使用制限	
	①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。	
	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。	
	③ 木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等)	クロロピリホリス、ダイアジン、フェノカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する。	
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接着剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。	
空 気 汚 染 物 対 策	⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。	
	⑥ 小屋裏等に使用する材料等	建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。	
	室内に関わる材料(上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロロピリホリス、ダイアジン、フェノカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。		

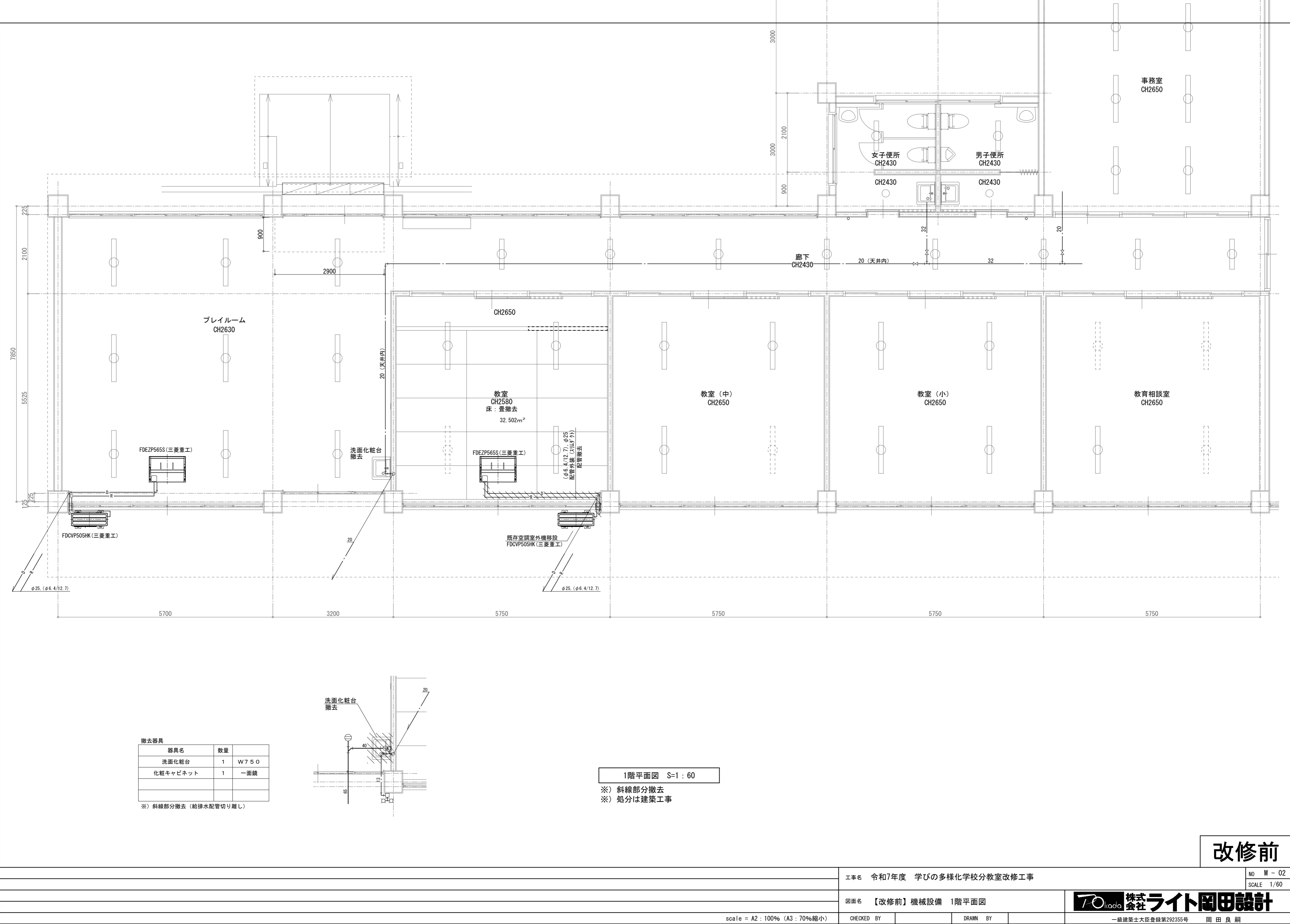
●衛生器具 備	大 便 器	○ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。 ○ 汚物缶 ○ 和風大便器が防火区画を貫通し、防火カバーを必要とする箇所は（ ）箇所である。 ● 乾式床の場合、洗面器の上部はシリコン材シールを施す。 ○ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共仕区画に適合する処理を施す。
●給水設備	負担金類 継ぎ手類	● 不要 ○ 要（ ） ● 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁） ○ 二次側給水弁（土中）：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁（内面ライニング） ● 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋼鉄製F付き内面ライニング弁5K ● 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側飽金内ねじ形とする。 ○ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は飽金継手等を使用し、管端の防錆をすること。 ● ビニル管とライニング鋼管の接続には[T Sバルブソケット]+[防食ネジ異種金属接続用めすアダプタソケット付き継手]を使用する。（水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。） ● T Sバルブソケットは金属製（飽金）おすネジを打込しているものを使用すること。
●排水設備	保護砂 砂利	○ 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。
○消火設備	消 火 栓 箱	○ 消火栓箱は（○ 県の標準図 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様） ○ 共仕区画の消防検査受検必要
○給湯設備	弁 大 気 汚 染 対 策	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。 ○ 15kg以上の給湯器を設置する場合は、「構造設置基準：告示1447号の基準に適合させる。」
○ガス設備	給湯器用止水弁 そ の 他	○ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用すること。 ○ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ○ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律 第38条の2に準拠 ○ 「高圧ガス保安法第24条に準拠」 ○ ガス事業法第162条に適合
○浄化槽設備	種 汚 泥 試 運 転 調 整 そ の 他	○ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入すること。 ○ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 最低限の点検回数は 単独処理・小型合併・沈澱分離方式合併処理・月1回 流量調整槽のある合併処理・・・・2週に1回 2 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、太陽菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ○ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。 ○ 補助金申請設備
●空気調和・換気設備	計 測 機 器 等 自動空気抜き弁装置 吹出口チャンパ 消音内貼り ダクト 機器付属の制御盤 大気汚染対策	温度計（ ）ヶ所 圧力計（ ）ヶ所 風量測定口（ ）ヶ所 瞬間流量計（ ）ヶ所 手動空気抜弁装置（ ）ヶ所 ● 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 アネモ形吹出口には、チャンパ（ネック径200φ以下は400φ×250H 200φをこえるものは500φ×300H）を設ける。 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とする。サブライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 消音材は「グラスウール（吹出口チャンパ・吸込口チャンパ・レターンチャンパ）は25mm厚、サブライチャンパは50mm厚）とし、グラスウール押えとする。 ○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品）○スパイラルダクト（亜鉛鍍金鋼板） ○ グラスフレックスダクト ○ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の壁の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
●別工事	別 途 工 事	○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ● 点検口 ○ ● 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ ブロバンポンベ庫 ○

III 材料メーカー表	材 料	材 料	材 料	材 料
衛 生 陶 器	TOTO、LIXIL(INAX)、シャニ工業	ル ー ム エ ア コ ン	タ イ ン、三菱、日立、パナソニック、日本サナリ	タ イ ン、三菱、日立、パナソニック、日本サナリ
水 栓 金 具 類	TOTO、LIXIL(INAX)、シャニ工業、三栄水栓	バ ッ ケ ー ジ エ コ ン	タ イ ン、三菱、日立、パナソニック、日本サナリ	タ イ ン、三菱、日立、パナソニック、日本サナリ
F R P 水 槽	三菱、日立、積水、ブリヂストン	冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工
う ザ 巻 ポ ン プ	荏原、日立、アイ、川本	エ ア ハ ン ド リ ン グ ユ ニ ッ ト	新晃、アイ、三菱、昭和、パナソニック、木村、日本サナリ、東洋製作所	新晃、アイ、三菱、昭和、パナソニック、木村、日本サナリ、東洋製作所
水 中 モ ー タ ー ポ ン プ	荏原、日立、アイ、川本、鶴見	送 風 機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミヨ、旭電業	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミヨ、旭電業
汚 水 ・ 汚 物 ポ ン プ	荏原、日立、アイ、川本、鶴見、新明和	冷 却 塔	矢崎、日立、荏原、空研、日本スピン	矢崎、日立、荏原、空研、日本スピン
電 気 温 水 器	三菱、日立、シャニ工業、東芝、パナソニック、三菱、日立	自 動 制 御 機 器	タ イ ン、シャニ工業、三菱、日立	タ イ ン、シャニ工業、三菱、日立
厨 房 機 器	日本調理、アイ、北沢、ホンザキ、タニコー	ロ ー ル フ ィ ル タ ー	日本スピン、東洋空気調和、日本スピン	日本スピン、東洋空気調和、日本スピン
小 型 銅 板 ポ イ ラ ー	巴、昭和、愛知、神	全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パナソニック、テラル、日本サナリ、アイ	三菱、パナソニック、テラル、日本サナリ、アイ
F R P 膨 張 タ ン ク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス	そ の 他	国土交通省仕様適合品	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者	ボ イ ラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者(小型ボイラ) ○ 講習修了者 ○ () 級ボイラ技士
	危 険 物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷 凍 機	○ 資格不要 ○ 第() 種冷凍機械作業主任者

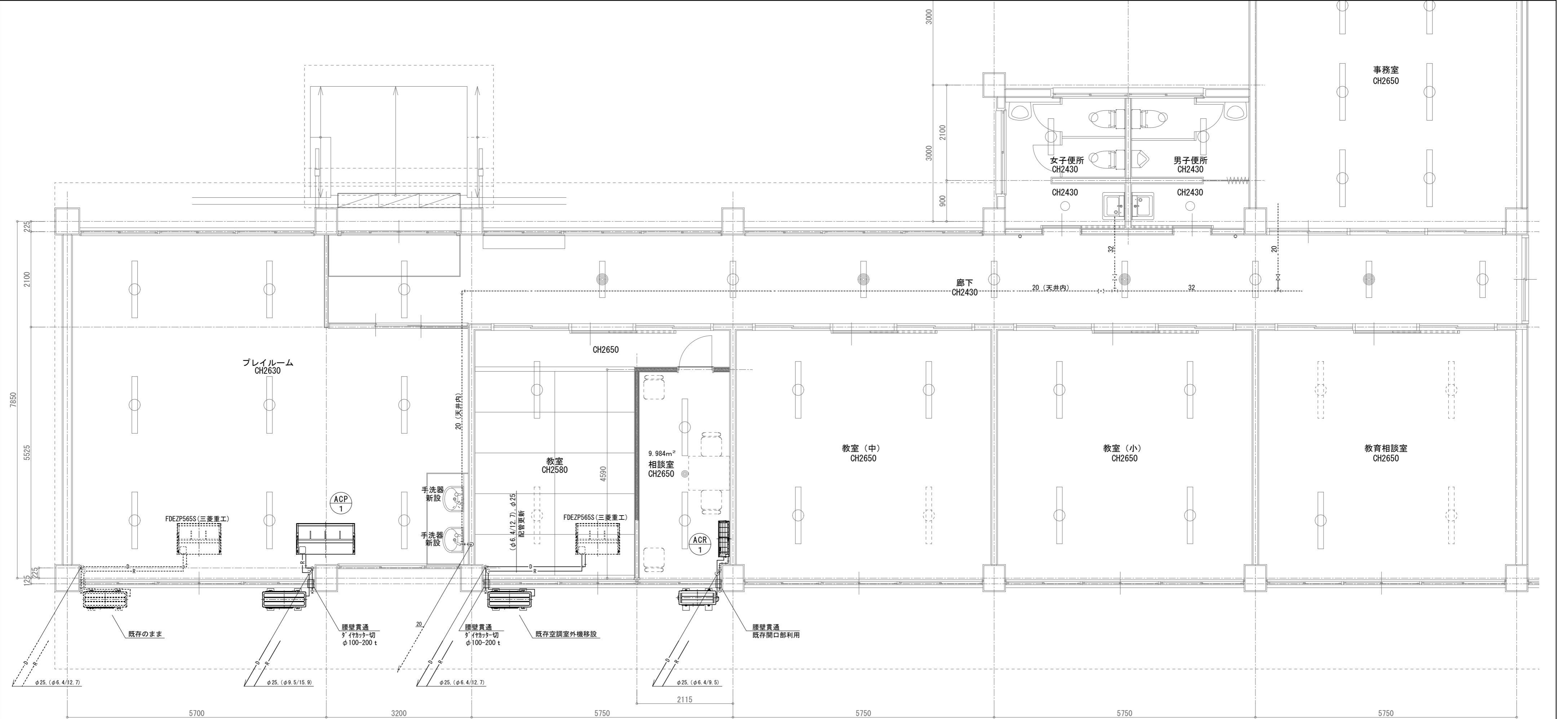
	官公庁等	打 合 せ 事 項	確 認 日
給 水			年 月 日
排 水			年 月 日
消 防			年 月 日
浄 化 槽			年 月 日
ガ ス			年 月 日
そ の 他			年 月 日

工事名	令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事	NO	M - 01
図面名	機械設備 特記仕様書	SCALE	
scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)	CHECKED BY	DRAWN BY	一級建築士大臣登録第29235号 岡 田 良 嗣



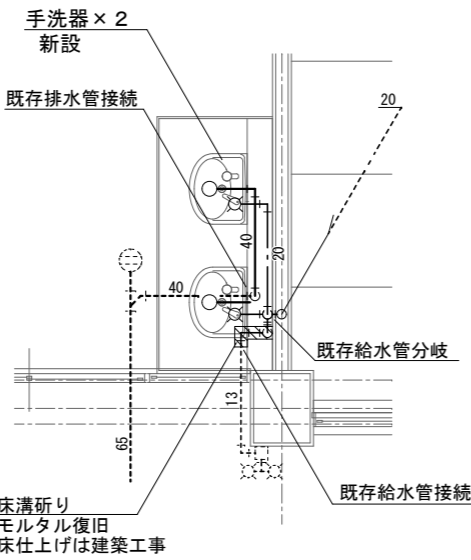
改修前

				工事名 令和7年度 学びの多様化学校分教室改修工事		NO M - 02	
						SCALE 1/60	
				図面名 【改修前】機械設備 1階平面図		<div>70koda株式会社</div> <div>ライト岡田設計</div>	
scale = A2 : 100% (A3 : 70%縮小)				CHECKED BY			
				一級建築士大臣登録第292355号 岡田良嗣			



器具名	数量	参考品番
壁掛洗面器	2	L250C, TLE28SS1W, TLDP2105JA, TL250D (壁掛洗面器、自動水栓(単水栓)、壁排水)
化粧鏡 (耐食)	2	YM3045F (300×450)

※) 点線部分 既存 (給排水配管既存接続) 他付属品共とする。



1階平面図 S=1 : 60
※) 点線部分は既存とする

空調機器表

記号	機器名	型式	数量	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	消費電力		圧縮機出力 (kW)	電源	備考
						冷房時 (kW)	暖房時 (kW)			
ACP-1	空冷HP パッケージエアコン	天吊形	1	7.1	8.0	2.080	2.430	1.600	単相200V 室外機電源 30A	ワイヤレスリモコン、他附属品共 冷媒：φ9.5/15.88
ACR-1	空冷HP ルームエアコン	壁掛形	1	2.2	2.5	0.425	0.465	0.600	単相100V 室内機電源 15A	ワイヤレスリモコン、他附属品共 冷媒：φ6.35/9.52

電気容量は参考値とし、機器の能力は記載数値以上とする。
使用する各機器の承認図を係員に提出し承認を得ること。
室内機のパネル・グリル色は現場にて係員と打合せの上決定すること。
冷媒追加充填、試運転調整を含む。
各機器への一次側電源工事は別途（電気設備工事）
渡り配線は本工事
冷媒配管は配管長さに注意して施工すること。
冷媒配管はベアコイルとする。

ドレン配管
保温材付ドレンパイプ（V P＋化学架橋30倍発砲ポリエレン）（屋内隠ぺい・露出）
水道用硬質塩化V P（J I S・K・6 7 4 2）（屋外露出・埋設）
屋内外露出部は保温上スリムダクト仕上げとする。
室外機には転倒防止金具取付のこと。屋外部に使用する金具類はS U S製とすること。
室外機基礎はコンクリートブロック＋防振ゴムマット敷とする。
外壁貫通部は止水処理を行う。

改修後